

男女共同参画に関する市民意識調査

〔報 告 書〕

平成22年12月

薩摩川内市

平成17年度(薩摩川内市調査)

I. 市民意識調査の実施概要

1. 調査概要と回収状況

(1) 調査の目的

薩摩川内市における男女共同参画に関する市民の意識を調査し、今後の本市における男女共同参画社会の実現のため、各種施策の参考資料とする。

(2) 調査項目

- ① 女性の社会活動への参画に関する意識について
- ② 家庭観等に関する意識について
- ③ 男女の地位の平等について
- ④ 男女共同参画社会の形成に関する意識について
- ⑤ ドメスティック・バイオレンスについて

(3) 調査対象

薩摩川内市在住の20代から70代以上の男女各100名の計1,200名を無作為に抽出した。

(4) 調査方法

郵送配布, 郵送回収

(5) 調査期間

平成17年8月15日(月)～平成17年9月9日(木)

(6) 回収状況

① 性別・年代別回答者数

年 代	女 性		男 性		合 計	
	回 答 数	構 成 比	回 答 数	構 成 比	回 答 数	構 成 比
20歳代	26	7.3%	15	4.2%	41	11.5%
30歳代	36	10.1%	13	3.6%	49	13.7%
40歳代	34	9.5%	17	4.8%	51	14.3%
50歳代	33	9.2%	25	7.0%	58	16.2%
60歳代	48	13.4%	39	10.9%	87	24.4%
70歳代以上	30	8.4%	33	9.2%	63	17.6%
無回答	4	1.1%	4	1.1%	8	2.2%
合計	211	59.1%	146	40.9%	357	

② 回収率

女性： 35.2%

男性： 24.3%

全体： 29.8%

平成22年度(薩摩川内市調査)

I. 市民意識調査の実施概要

1. 調査概要と回収状況

(1) 調査の目的

薩摩川内市における男女共同参画に関する市民の意識を調査し、今後の本市における男女共同参画社会の実現のため、各種施策の参考資料とする。

(2) 調査項目

- ① 女性の社会活動への参画に関する意識について
- ② 家庭観等に関する意識について
- ③ 男女の地位の平等について
- ④ 男女共同参画社会の形成に関する意識について
- ⑤ ドメスティック・バイオレンスについて

(3) 調査対象

薩摩川内市在住の20代から70代以上の男女各100名の計1,200名を無作為に抽出した。

(4) 調査方法

郵送配布、郵送回収

(5) 調査期間

平成22年6月23日(水)～平成22年7月31日(土)

(6) 回収状況

① 性別・年代別回答者数

① 性別・年代別回答者数

年 代	女 性		男 性		合 計	
	回 答 数	構 成 比	回 答 数	構 成 比	回 答 数	構 成 比
20歳代	27	9.0%	12	4.0%	39	13.0%
30歳代	36	12.0%	15	5.0%	51	17.1%
40歳代	28	9.4%	26	8.7%	54	18.1%
50歳代	34	11.4%	13	4.3%	47	15.7%
60歳代	36	12.0%	20	6.7%	56	18.7%
70歳代以上	31	10.4%	21	7.0%	52	17.4%
合計	192	64.2%	107	35.8%	299	

② 回収率

女性： 32.0%

男性： 17.8%

全体： 24.9%

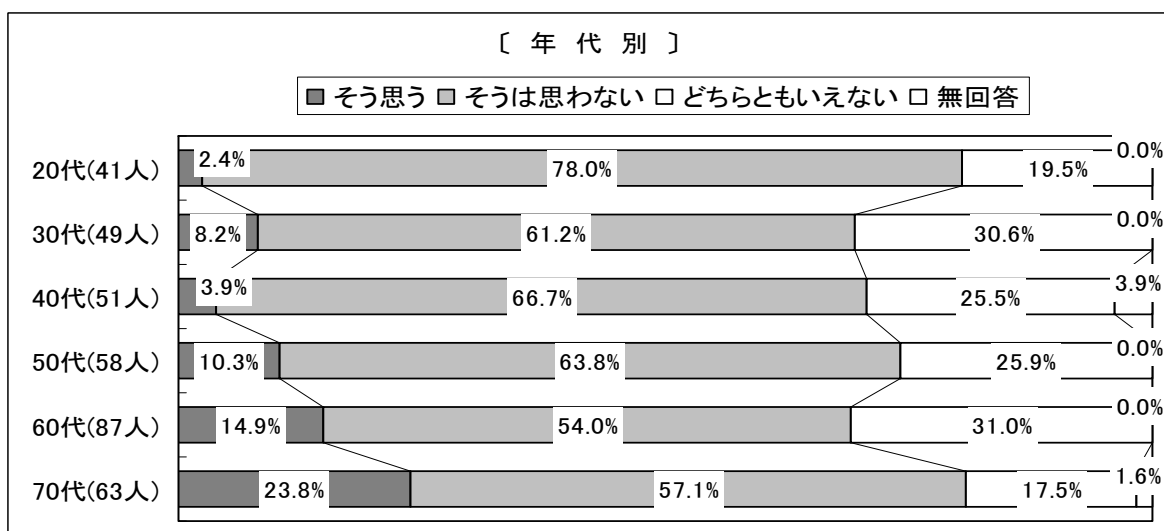
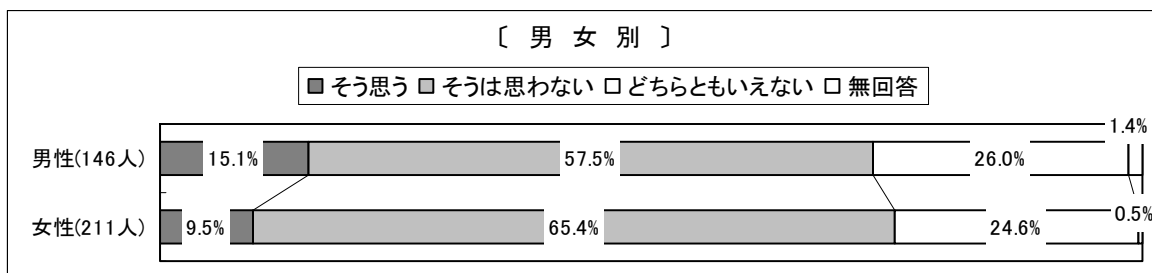
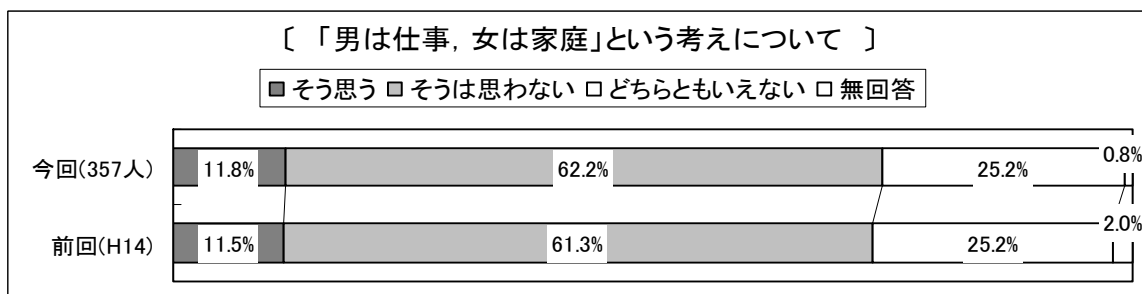
平成17年度(薩摩川内市調査)

II. 市民意識調査の結果分析

1. 『女性の社会活動への参画に関する意識について』

問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思われますか。

〔傾向〕 前回と比較すると、「そうは思わない」としたものが増加し、女性の社会活動への参画に関する意識が高まってきている。これを年代別に見ると30代が30.6%、40代が25.5%と、いわゆる子育て世代で高い数値が示された。



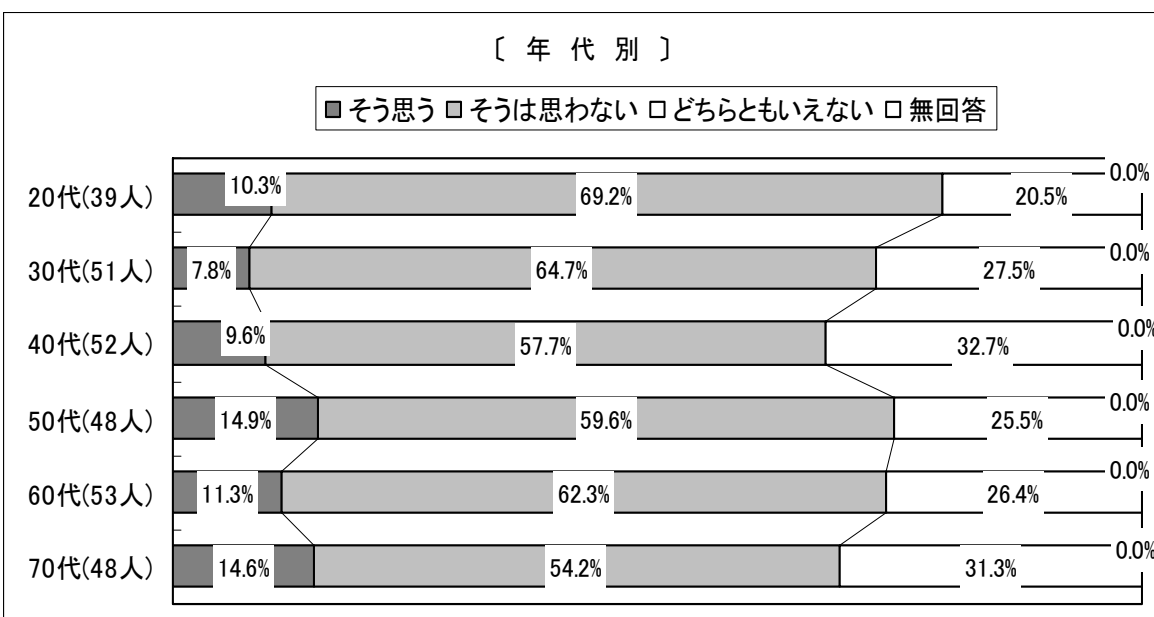
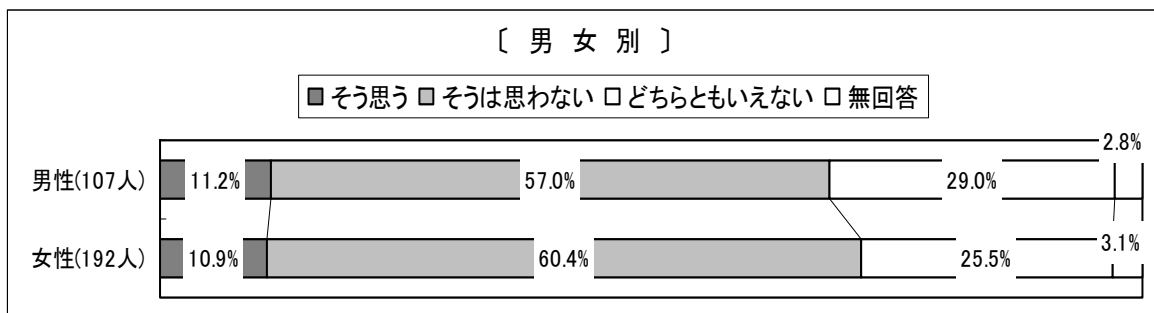
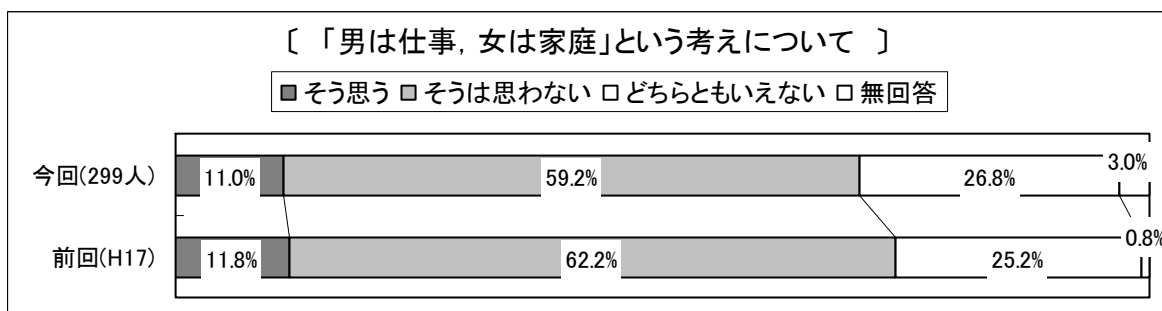
平成22年度(薩摩川内市調査)

II. 市民意識調査の結果分析

1. 『女性の社会活動への参画に関する意識について』

問1 「男は仕事，女は家庭」という考え方がありますが，あなたはこの考え方についてどう思われますか。

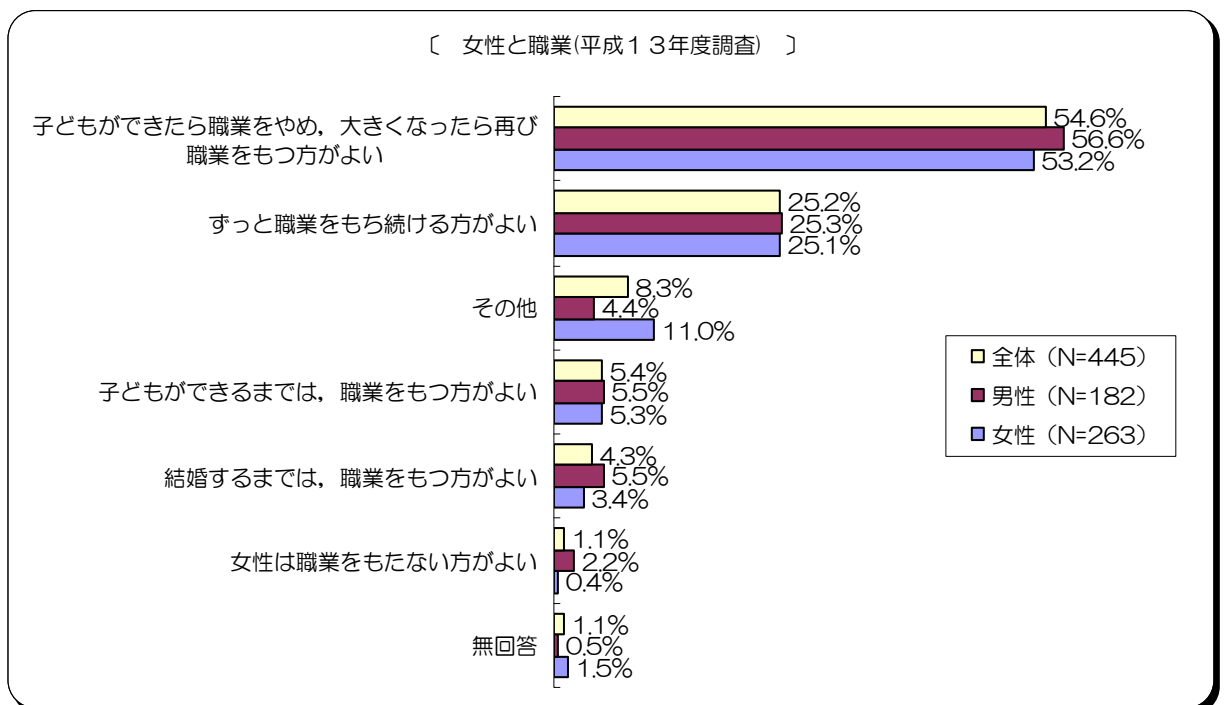
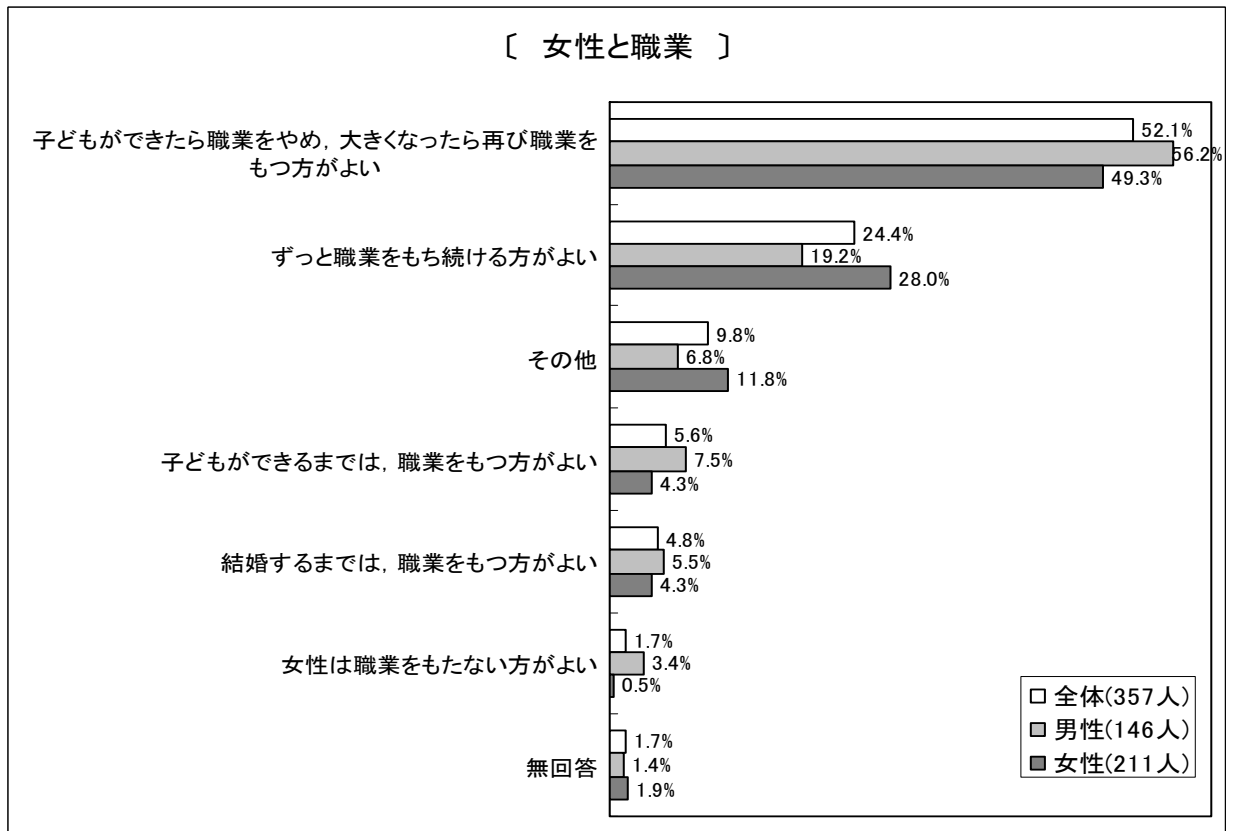
〔傾向〕 前回と比較すると，大きな数値の変動は見られず，「そう思わない」との回答が59.2%であり，女性の社会活動への参画に関する意識が高いままである。これを年代別に見ると20代，30代，60代の順で高い数値が示された。



平成17年度(薩摩川内市調査)

問2 女性が職業をもつことについて、あなたはどうお考えになりますか。

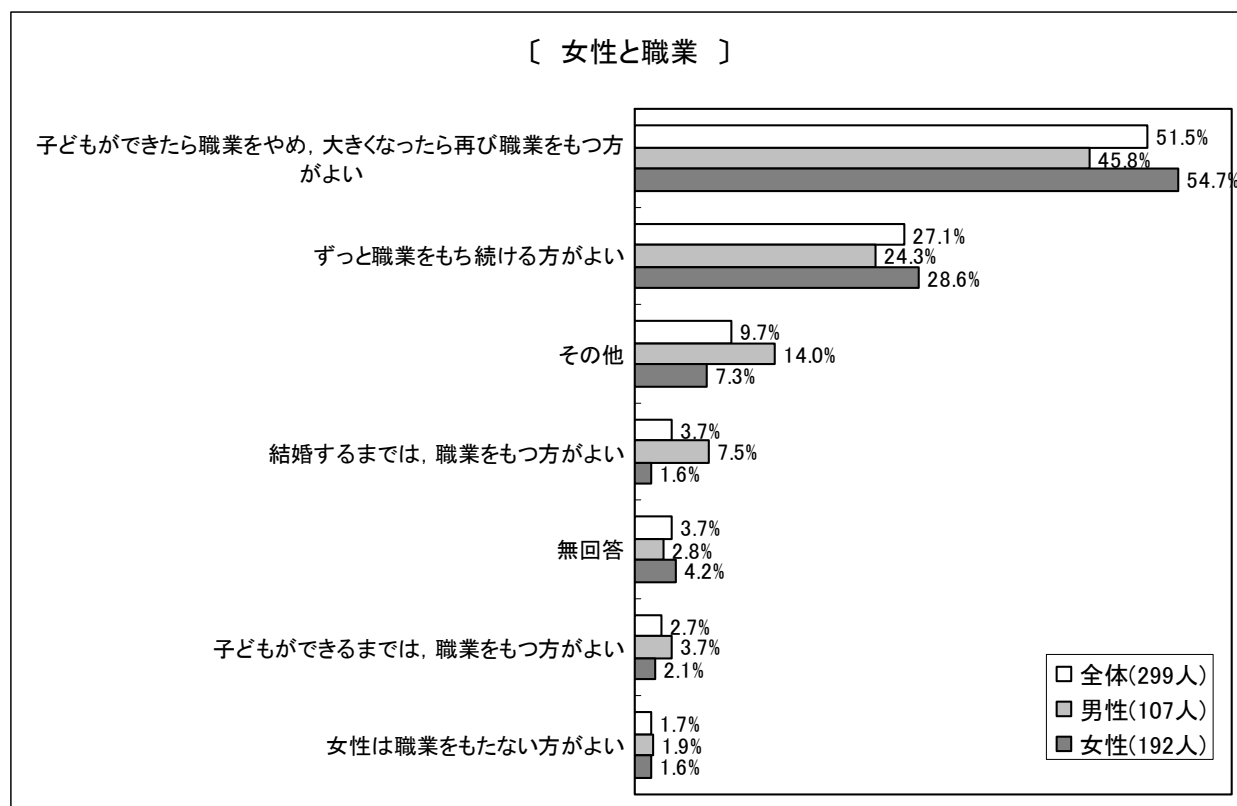
〔傾向〕「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が男女ともに半数くらいいる。また、質問項目が若干違うが前回調査と単純に比較した場合でも、女性が職業を持つことと、育児とは密接な関係があることがうかがえる。



平成22年度(薩摩川内市調査)

問2 女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えになりますか。

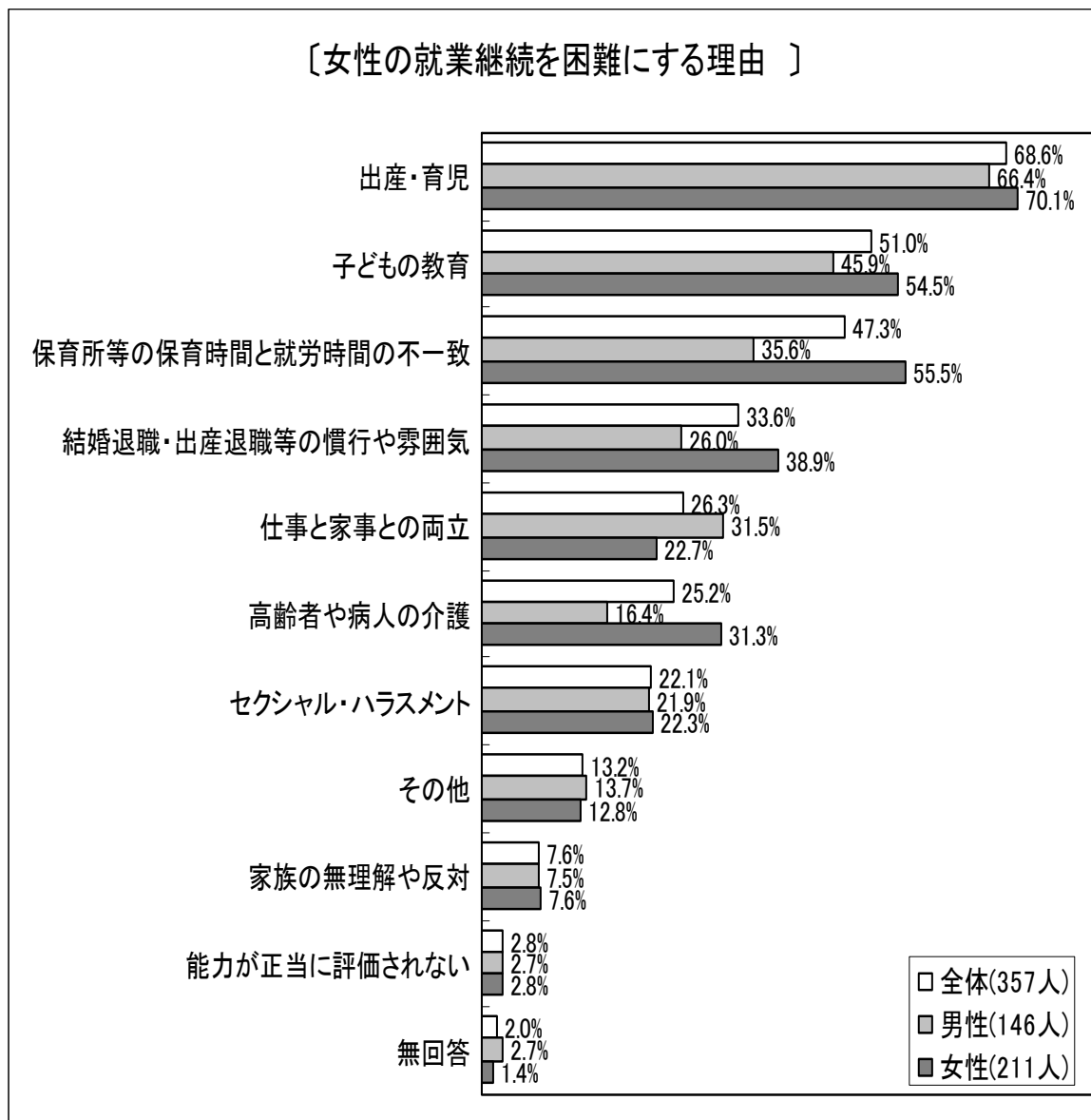
〔傾向〕 「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が半数くらいいる。また、女性が職業を持つことと、育児とは密接な関係があることがうかがえる。



平成17年度(薩摩川内市調査)

問3 女性が、職業をもち働き続けることを、困難にしたり障害になるとお考えになることはどのようなことでしょうか。(複数選択)

〔傾向〕 男女ともに、その理由として「出産・育児」「子どもの教育」をあげており、前回「仕事と家事との両立」「高齢者や病人の介護」が上位の順を占めていたが、介護保険制度の導入等による社会制度の変化が影響していると思われる。

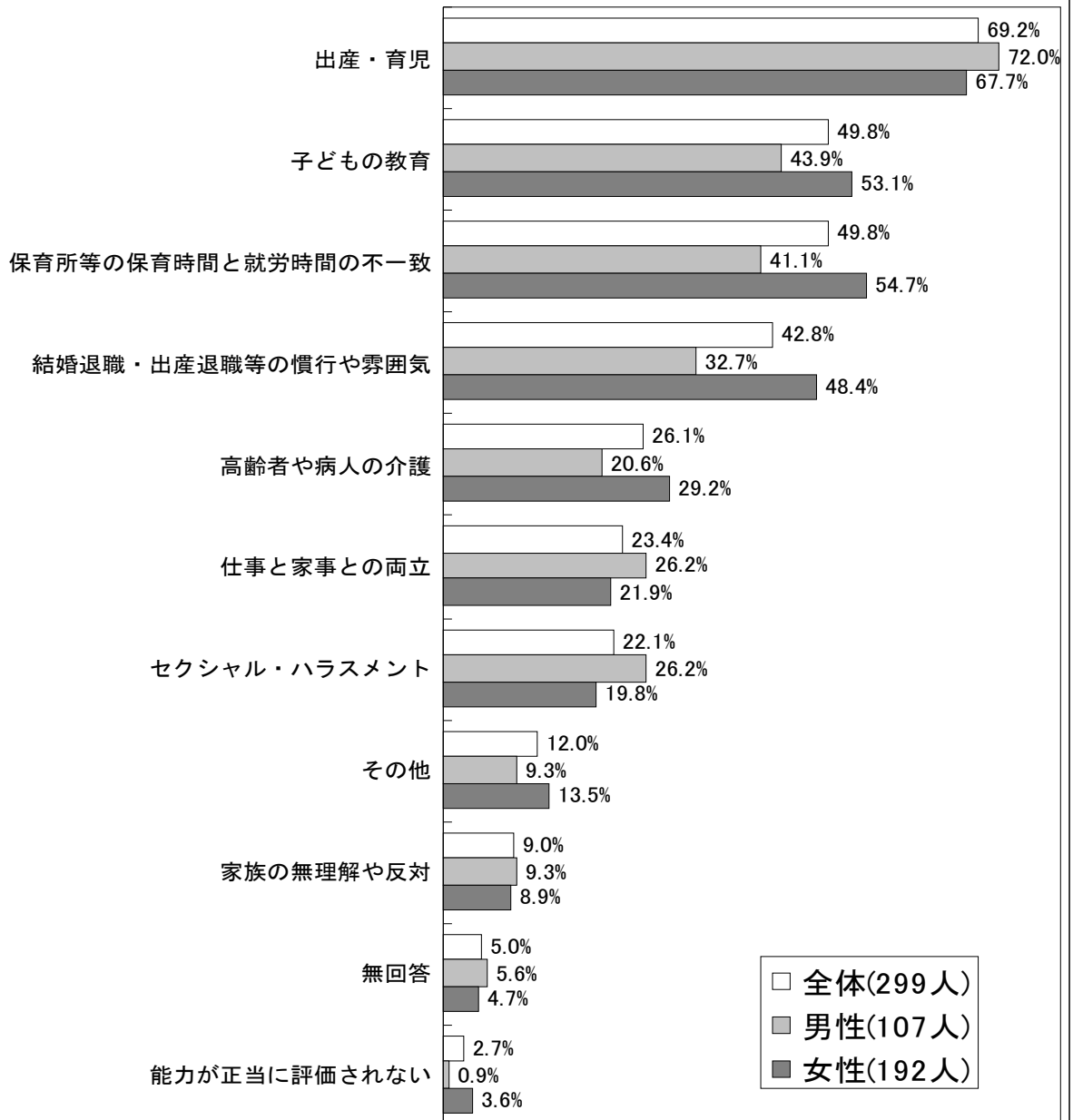


平成22年度(薩摩川内市調査)

問3 女性が、職業をもち働き続けることを、困難にしたり障害になるとお考えになることはどのようなことでしょうか。(複数選択)

〔傾向〕 男女ともに、その理由として前回と同じ理由が上位の4つを占めていたが、「結婚退職・出産退職等や雰囲気」は前回より10%近く上昇しており、現在の雇用環境の悪化等が影響していると思われる。

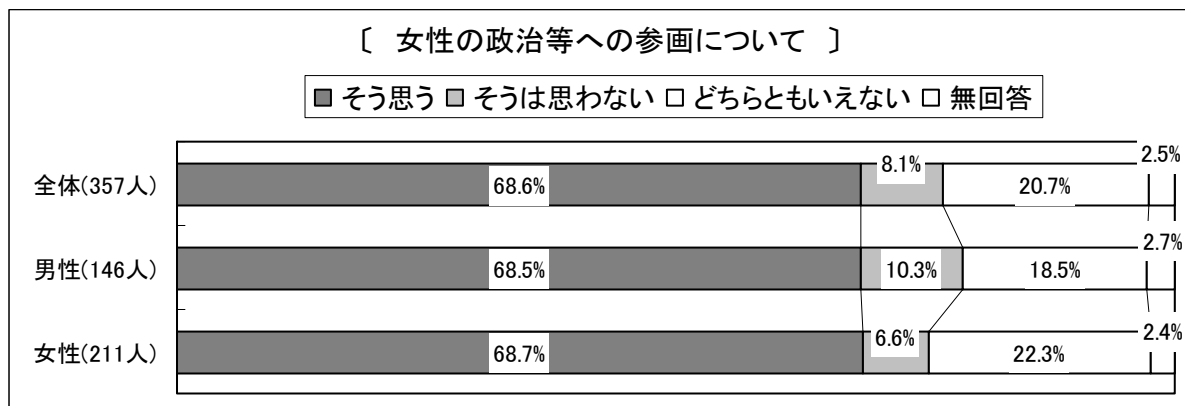
〔女性の就業継続を困難にする理由〕



平成17年度(薩摩川内市調査)

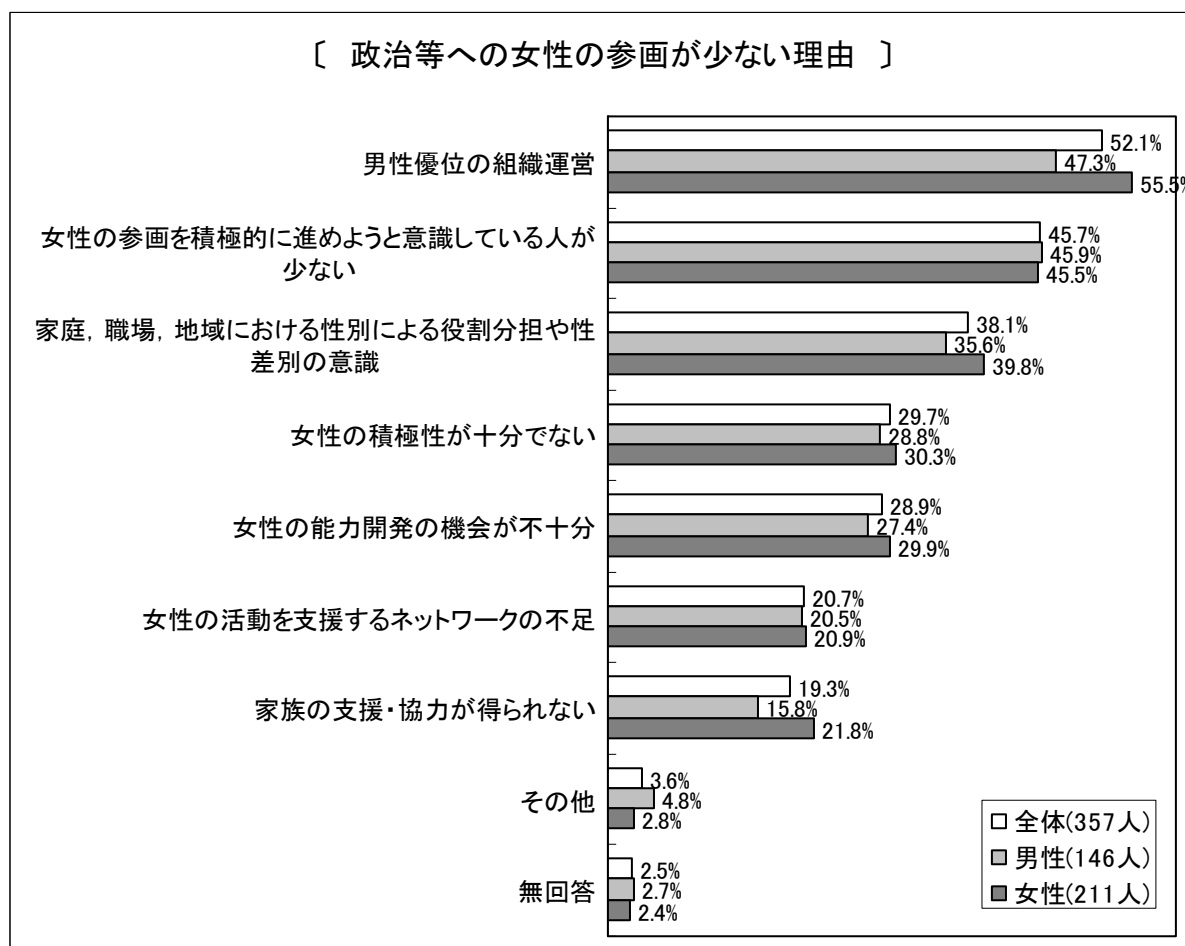
問4 あなたは、女性が国会議員や県議会議員、市議会議員などの公職に就いて、政策などの立案や決定に女性の意見をもっと反映するようにした方がよいと思われませんか。

〔傾向〕 男女ともに「そう思う」とする考え方が最も多く、68.6%という高い割合を示した。



問5 あなたは、政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思われますか。（複数選択）

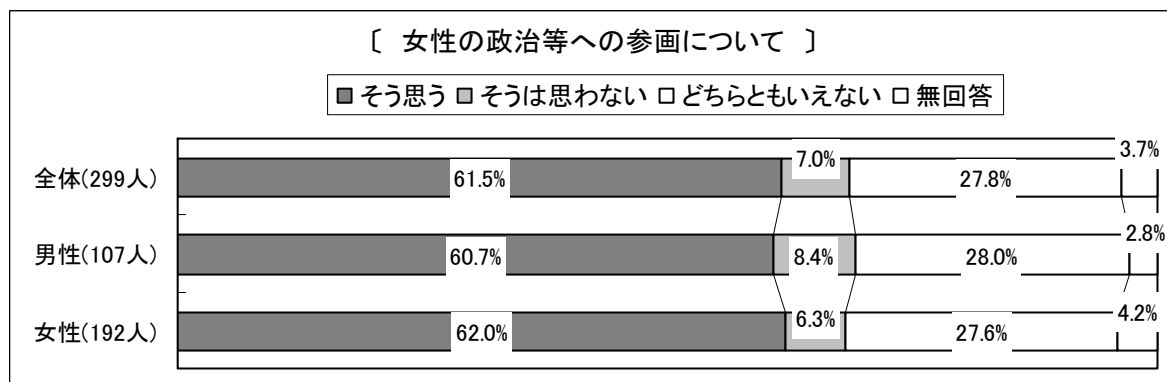
〔傾向〕 「男性優位の組織運営」が男女とも50%ほどいる。また、30%を越えたものが4項目あり、政治や行政の場において、ジェンダーに敏感な視点が求められている。



平成22年度(薩摩川内市調査)

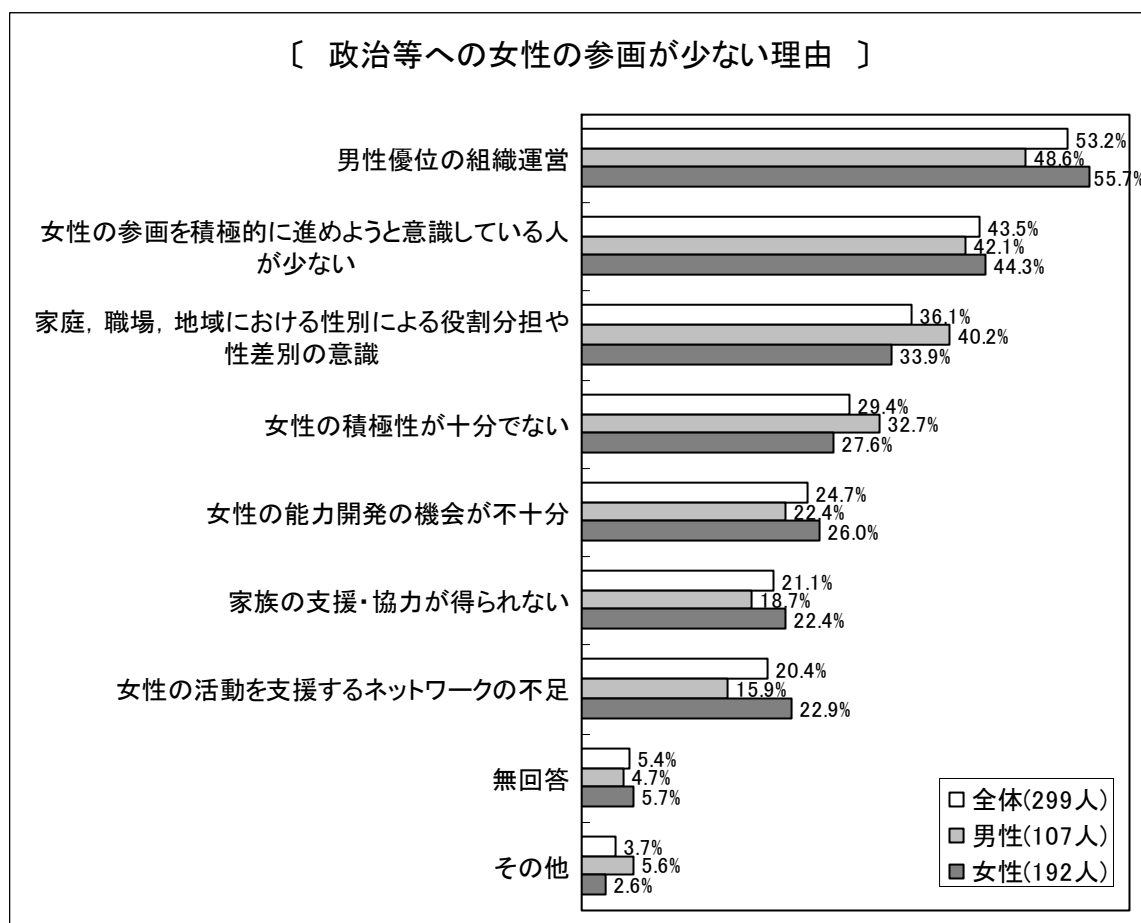
問4 あなたは、女性が国会議員や県議会議員、市議会議員などの公職に就いて、政策などの立案や決定に女性の意見をもっと反映するようにした方がよいと思われませんか。

〔傾向〕 男女ともに「そう思う」とする考え方が前回同様最も多く、61.5%という高い割合を示した。



問5 あなたは、政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思われますか。（複数選択）

〔傾向〕 「男性優位の組織運営」が男女とも50%ほどいる。また、30%を越えたものが3項目あり、政治や行政の場において、ジェンダーに敏感な視点が求められている。

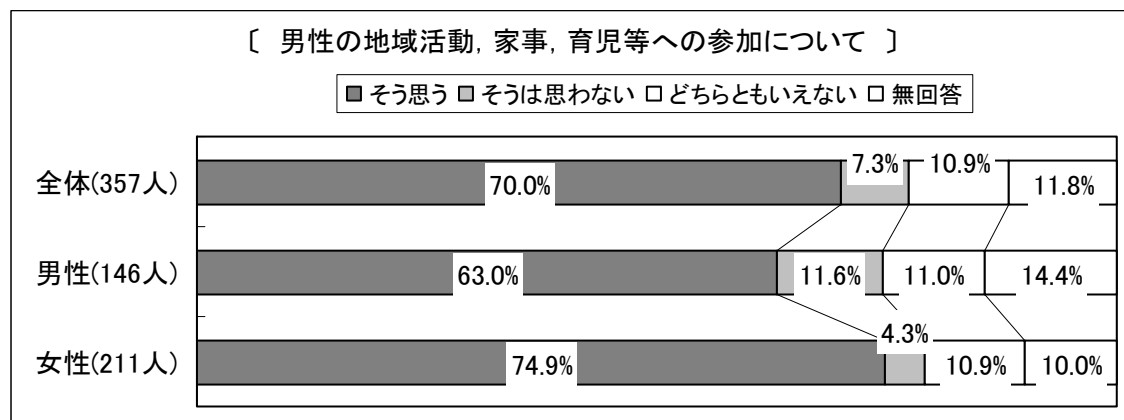


平成17年度(薩摩川内市調査)

2. 『家庭観等に関する意識について』

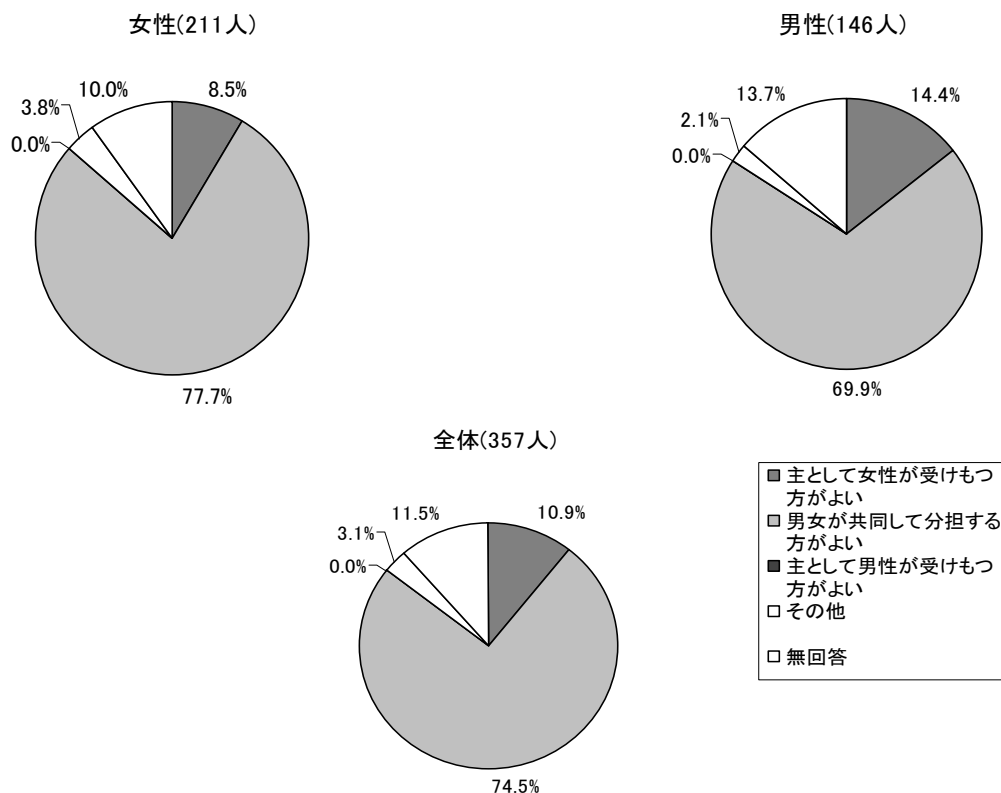
問6 「男性はもっと地域活動や、家事、育児、介護などに参加する必要がある」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思われますか。

〔傾向〕 全体では70%以上の方が「そう思う」と考えているが、女性の方が男性よりもその必要性を感じている割合が高かった。



問7 あなたは、高齢者の介護をする場合に、家庭内での分担について、どのようにお考えになりますか。

〔傾向〕 「男女が共同して分担する方がよい」が全体で70%を越えて圧倒的に多い。少数ではあるが「主として女性が受けもつ方がよい」と考えている男女別の割合では、約2倍の差があった。

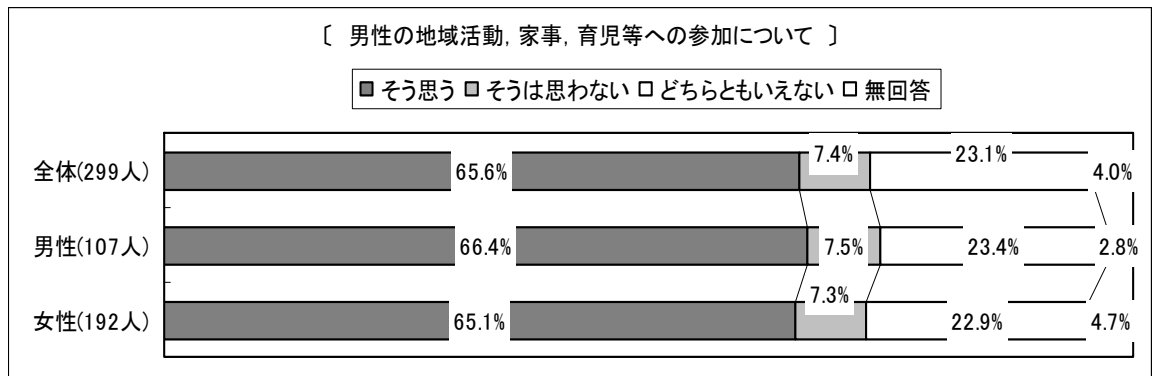


平成22年度(薩摩川内市調査)

2. 『家庭観等に関する意識について』

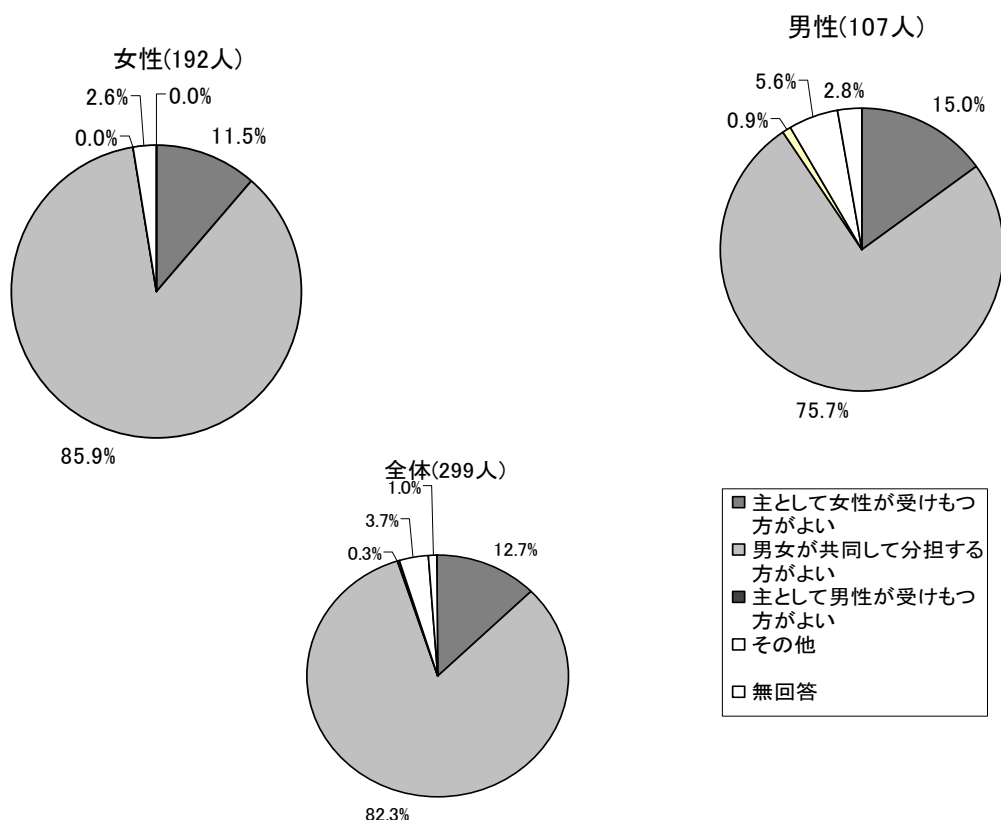
問6 「男性はもっと地域活動や、家事、育児、介護などに参加する必要がある」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思われますか。

〔傾向〕 全体では60%以上の方が「そう思う」と考えており、男女でその必要性を感じている割合に明確な差はなかった。「どちらともいえない」の回答がふえている。



問7 あなたは、高齢者の介護をする場合に、家庭内での分担について、どのようにお考えになりますか。

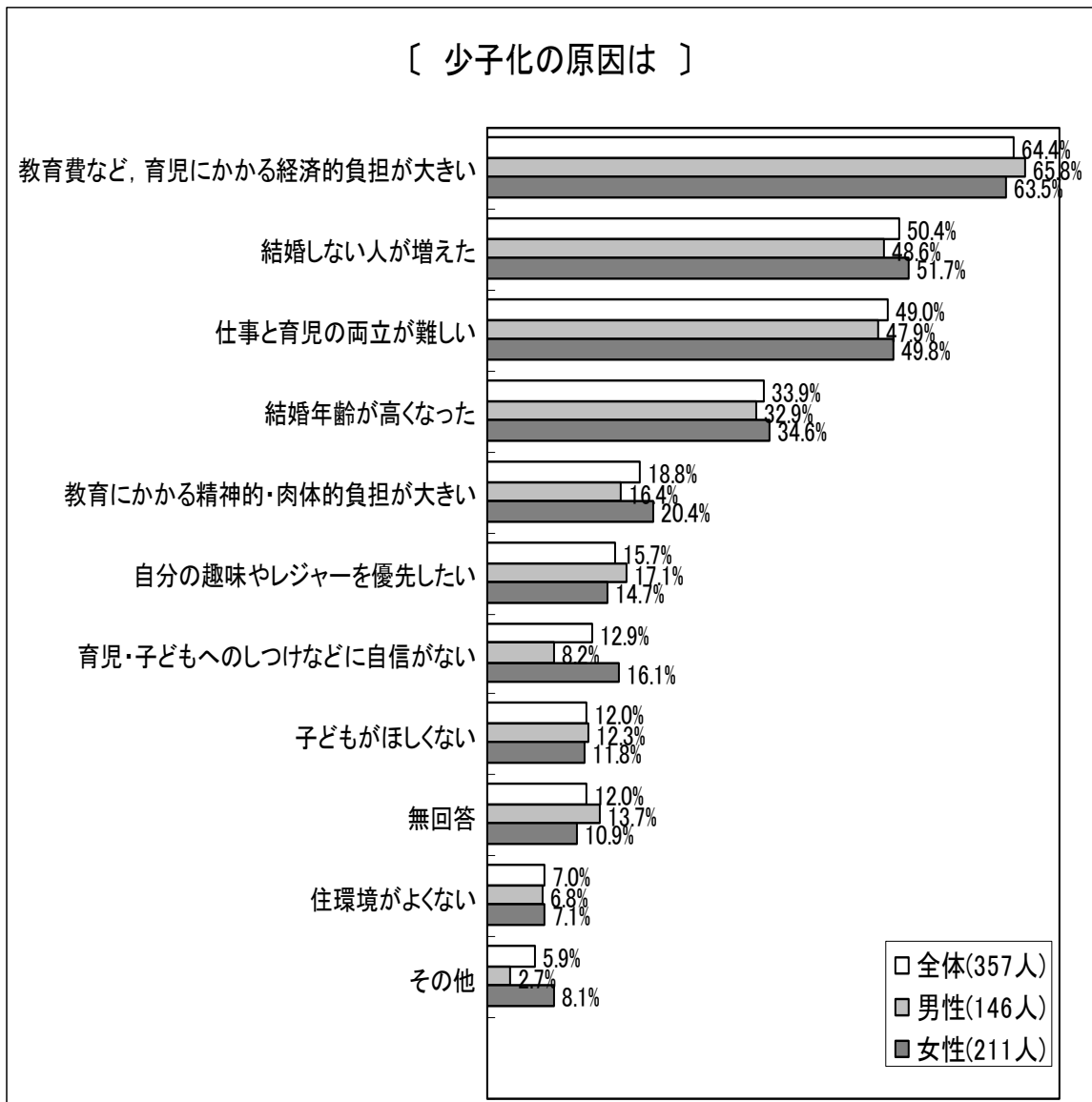
〔傾向〕 「男女が共同して分担する方がよい」が全体で80%を越えて圧倒的に多い。5%程度ではあるが「主として女性が受けもつ方がよい」と考えている男性が多かった。



平成17年度(薩摩川内市調査)

問8 現在少子化が進んでいますが、あなたはその原因は何だと思われますか。(複数選択)

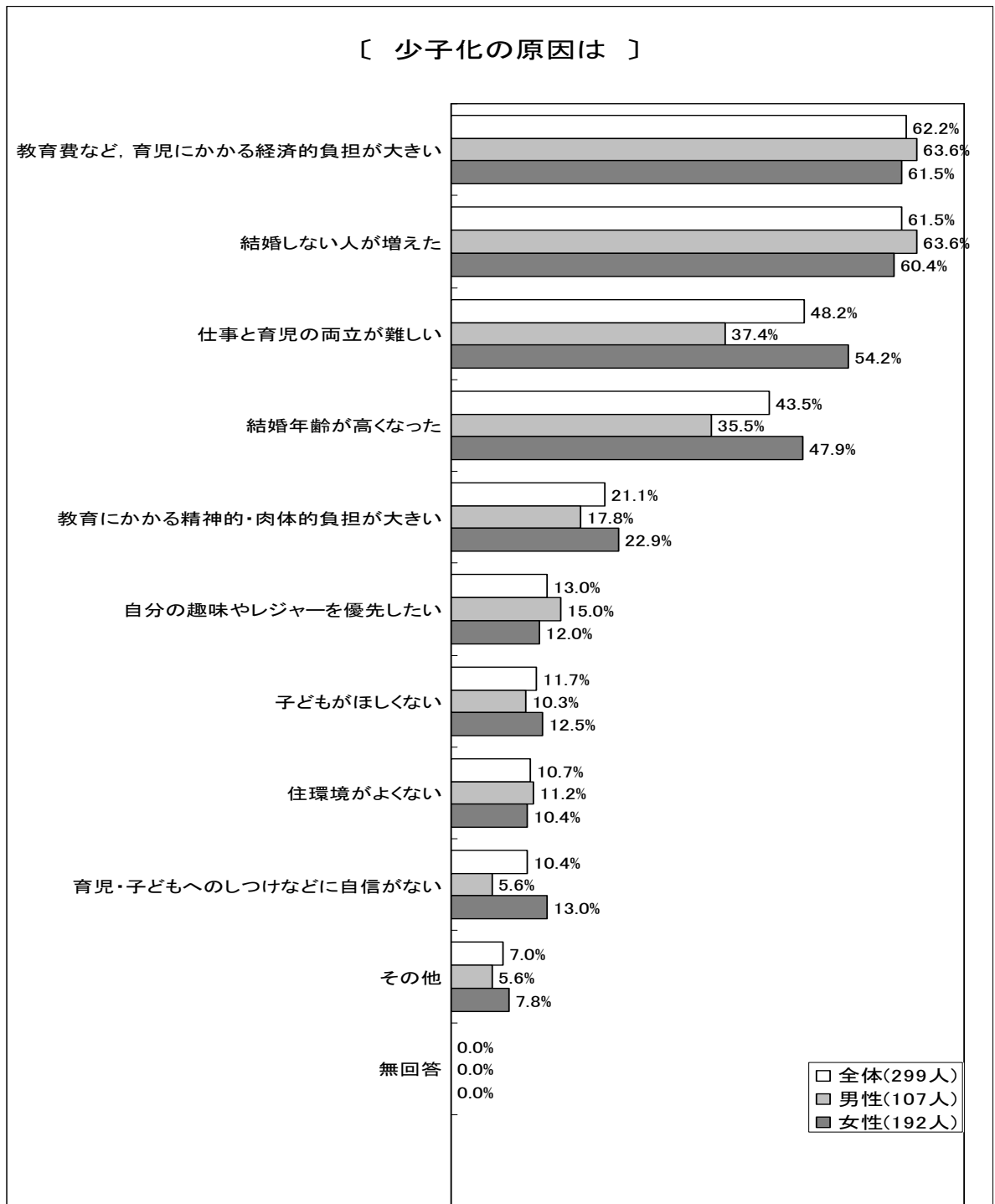
〔傾向〕 男女共に少子化に対する考えは一致している。経済的負担の大きいことや、結婚しない人が増えたことは、自分らしい生き方の選択ができる社会ができつつあることや、ついで仕事と育児の両立の難しさなど、子育てしにくい社会環境であることがうかがえる。



平成22年度(薩摩川内市調査)

問8 現在少子化が進んでいますが、あなたはその原因は何だと思われますか。(複数選択)

〔傾向〕 男女共に少子化に対する考えはほぼ一致している。経済的負担の大きいことや、結婚しない人が増えたことは、自分らしい生き方の選択ができる社会ができつつあることや、ついで仕事と育児の両立の難しさなど、子育てしにくい社会環境であることがうかがえる。また、前回の調査結果より「結婚しない人が増えた」が10%程度上昇している。



平成17年度(薩摩川内市調査)

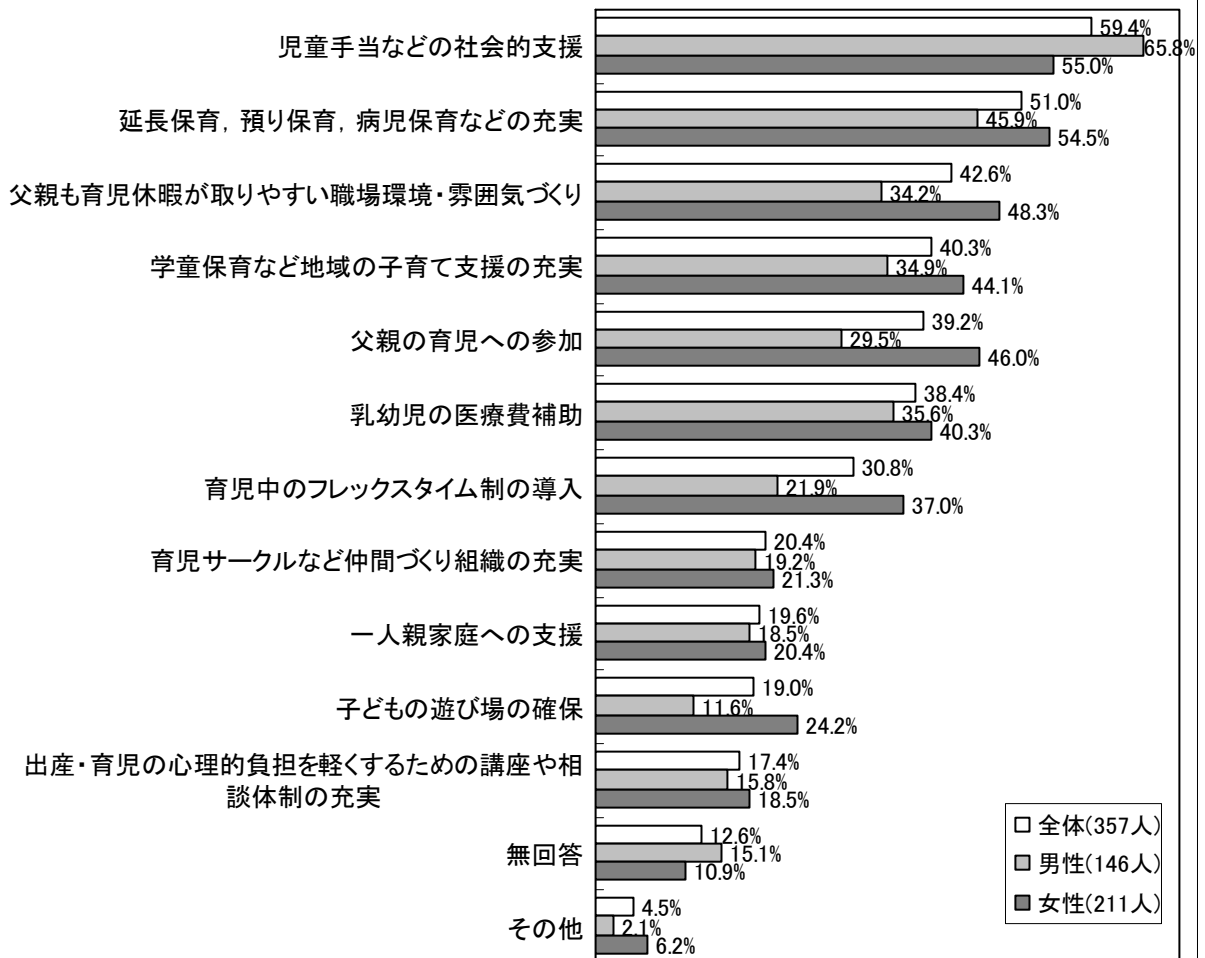
問9 安心して子供を産み育てるためには、どのようなことが必要だと思われますか。
(複数選択)

〔傾向〕 「児童手当などの社会的支援」「延長保育、預り保育、病児保育などの充実」が上位を占めている。また、この中でも男性は経済的な社会支援を一番に望み、女性は保育制度の充実を一番に望んでいる。

次いで「父親も育児休暇が取りやすい職場環境等」であるが、これを望む女性が男性より14.1%上回っている。

全体的に見ると、各項目に対する極端な差異はなく、複数の項目が満たされて初めて安心して子供を産み育てる環境が整うことがうかがえる。

〔安心して子どもを生み育てるためには〕



※ フレックスタイム制

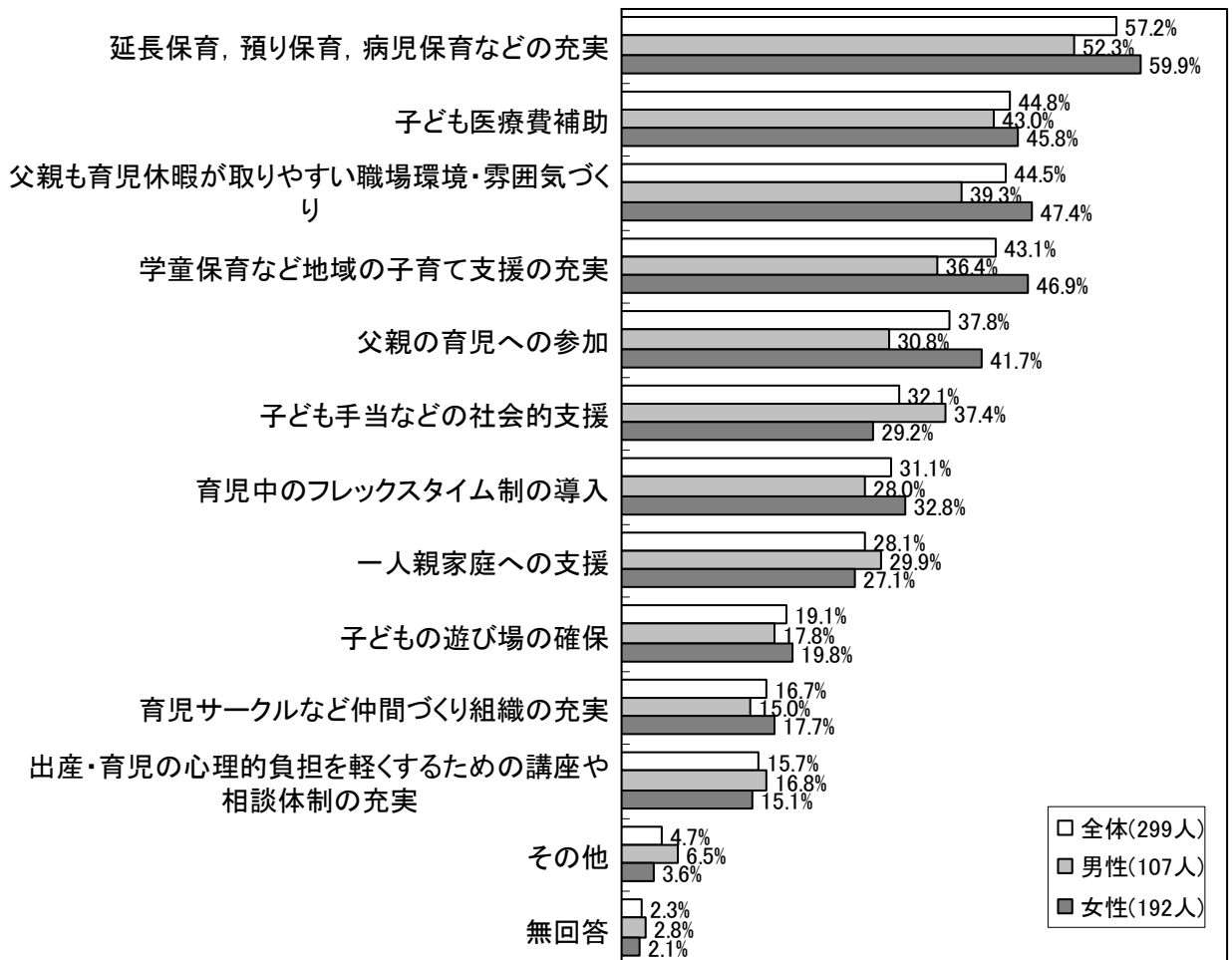
自由勤務時間制。規定の労働時間を守れば、出・退社時間は従業員各自が、自由に決められる勤務体制のことです。

平成22年度(薩摩川内市調査)

問9 安心して子供を産み育てるためには、どのようなことが必要だと思われますか。
(複数選択)

〔傾向〕 「延長保育、預り保育、病児保育などの充実」を男女共通して、一番に望んでいる。「学童保育」などを市民が広く支持していることがわかる。
また、前回上位にあった「子ども手当(児童手当)などの社会的支援」が約半分程度に減少したことは、子ども手当制度の開始の影響と思われる。
なお、全体的な傾向として、女性は、子育て支援の充実を望み、男性は経済支援の充実を望んでいる。
全体的に見ると、各項目に対する極端な差異はなく、複数の項目が満たされて初めて安心して子供を産み育てる環境が整うことがうかがえる。

〔安心して子どもを生み育てるためには〕



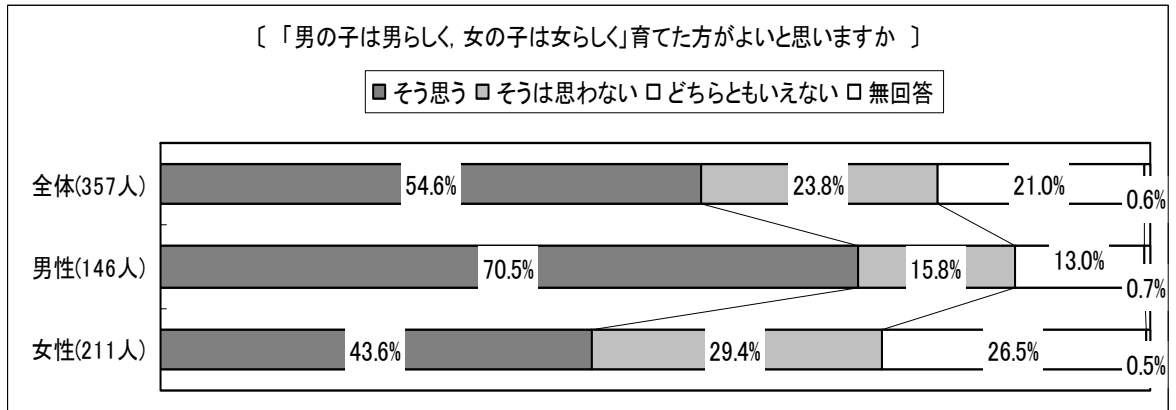
※ フレックスタイム制

自由勤務時間制。規定の労働時間を守れば、出・退社時間は従業員各自が、自由に決められる勤務体制のことです。

平成17年度(薩摩川内市調査)

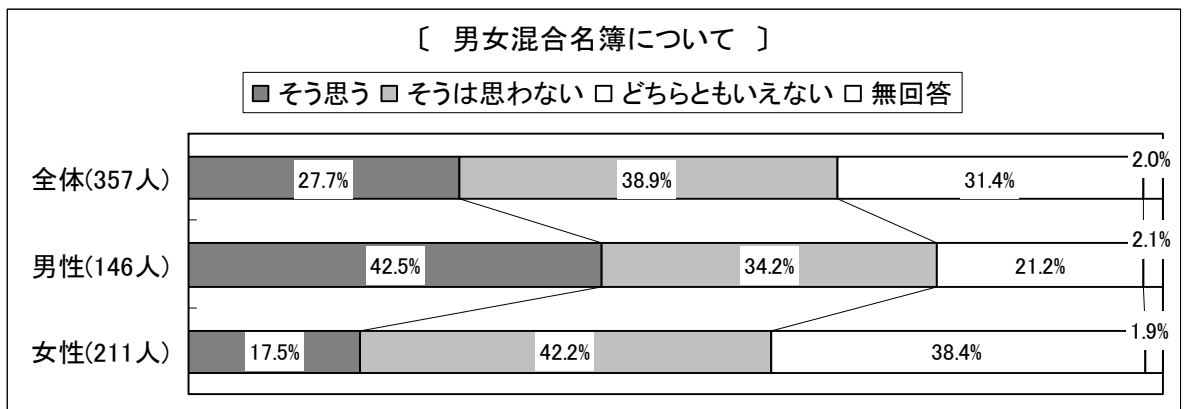
問10 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てたほうがよいと思いますか。

〔傾向〕 男性の7割が、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てたほうがよいと思っている。



問11 児童・生徒の名簿は、男女混合名簿がよいと思いますか。

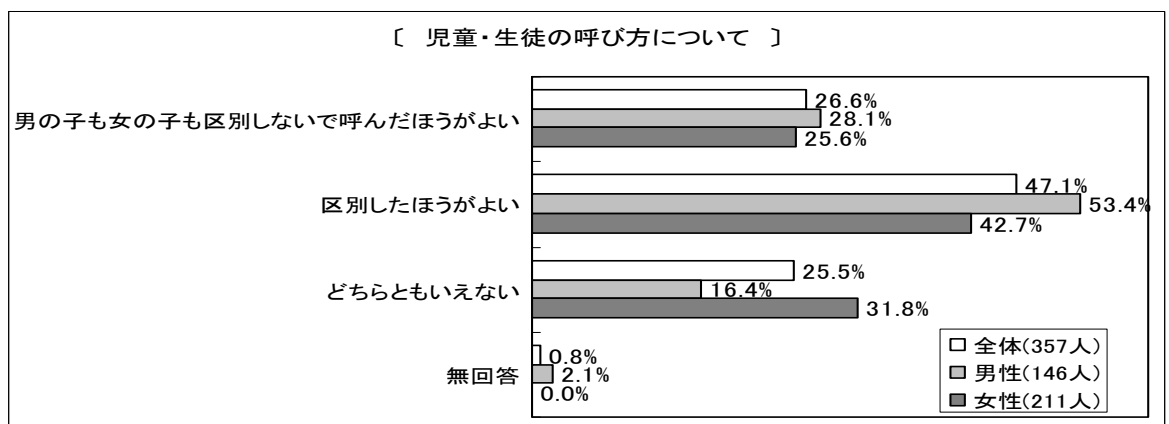
〔傾向〕 育て方とは、逆に、男性のほうが、混合名簿のほうがよいと思っている。



問12 児童・生徒を呼ぶとき、男の子は“君”，女の子は“さん”をつけて呼ぶことについてどう

思いますか。

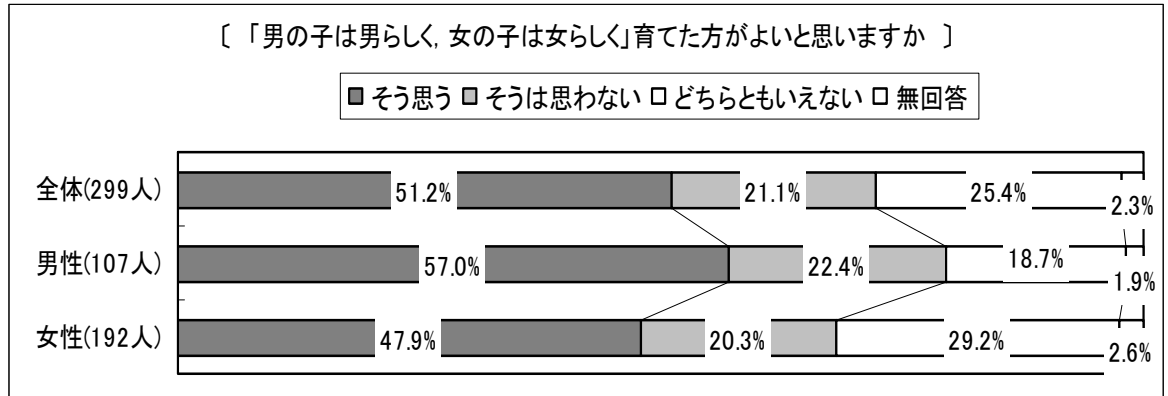
〔傾向〕 育て方と同様、区別して呼んだほうがよいと思う人が、半数近くいる。



平成22年度(薩摩川内市調査)

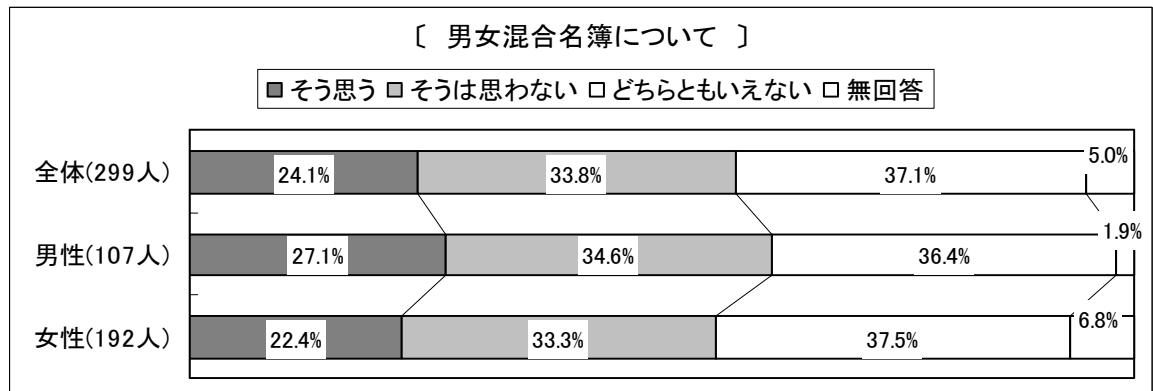
問10 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てたほうがよいと思いますか。

〔傾向〕 前回の結果より男性の「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てたほうがよいと思っている割合が特に男性において13%程度減少している。



問11 児童・生徒の名簿は、男女混合名簿がよいと思いますか。

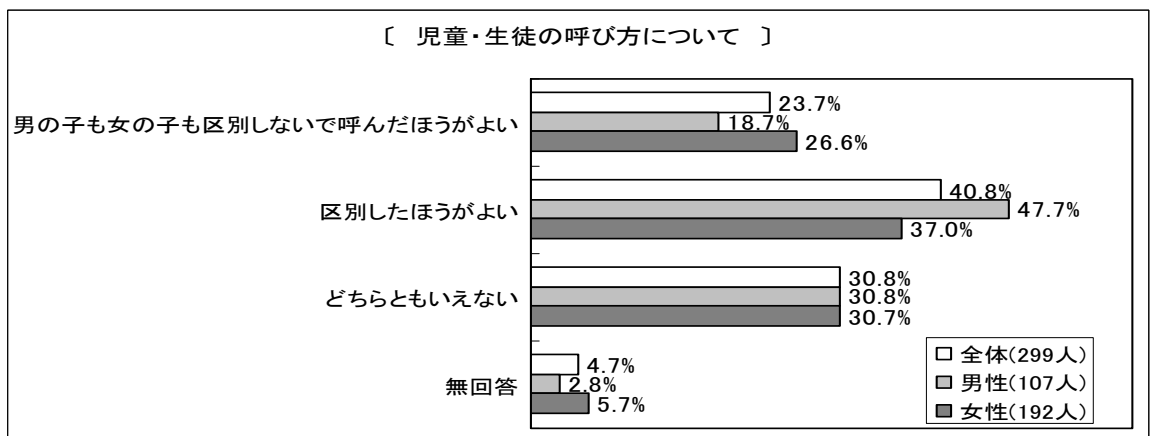
〔傾向〕 男女ともに、混合名簿のほうがよいと思っている層よりも否定や中立の割合が高くなっている。



問12 児童・生徒を呼ぶとき、男の子は“君”，女の子は“さん”をつけて呼ぶことについてどう

思いますか。

〔傾向〕 育て方と同様、区別して呼んだほうがよいと思う人が、半数近くいる。



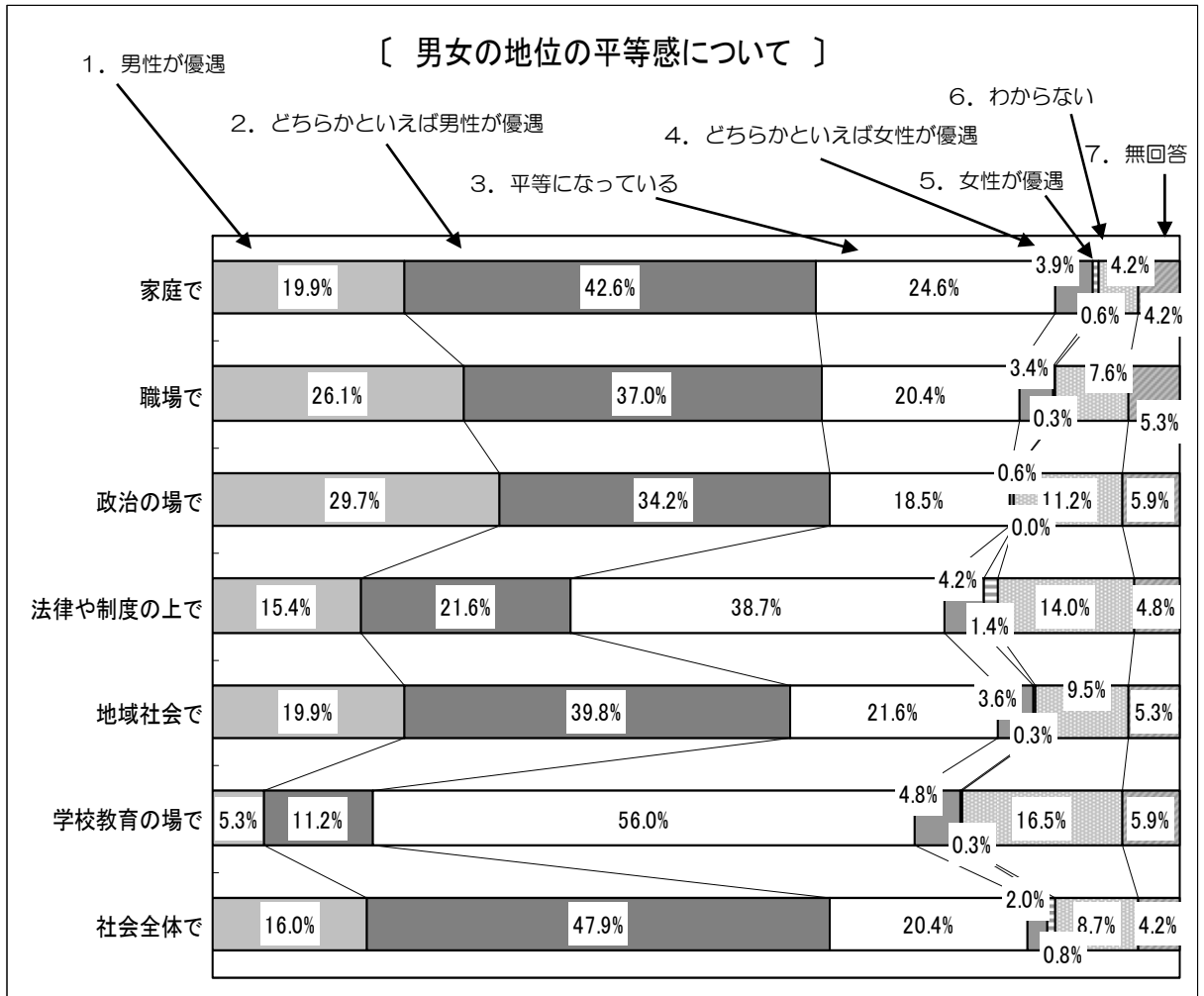
平成17年度(薩摩川内市調査)

3. 『男女の地位の平等について』

問13 あなたは、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思われますか。

〔傾向〕 各分野別に見ると「学校教育の場」と「法律や制度の上で」の2項目が平等になっているとする回答割合が最も高い。しかし、残り5項目では1と2を合わせて55%以上の回答で男性が優遇されているとする割合が高かった。なかでも、「社会全体で」は合計で63.9%と最も高い割合を示した。

全体的に県の調査（P37参照）と比べても、本市では男性の優遇感が強い結果となった。



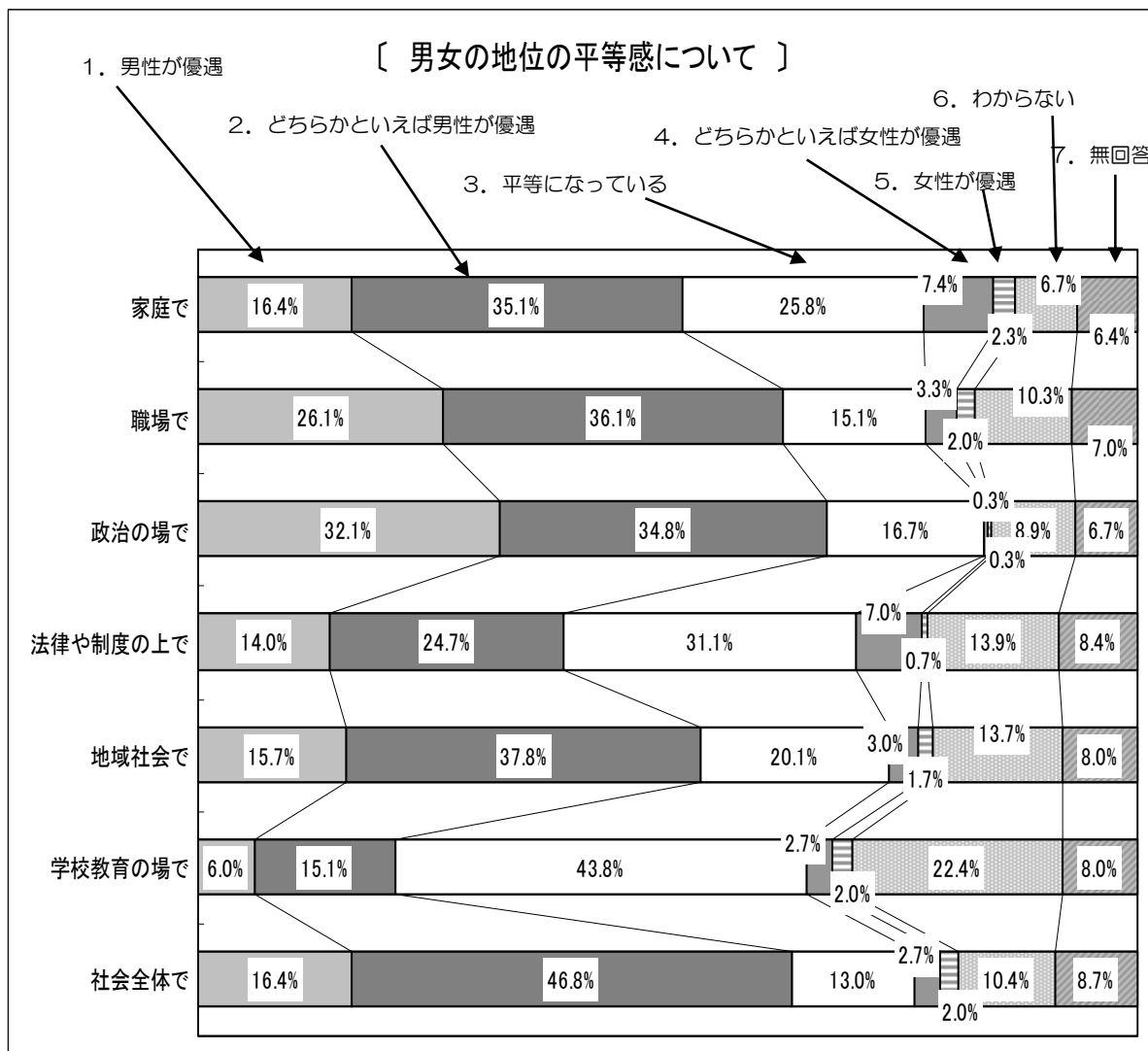
平成22年度(薩摩川内市調査)

3. 『男女の地位の平等について』

問13 あなたは、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思われますか。

〔傾向〕 前回の調査とほぼ同じ傾向である。しかし、残り5項目では1と2を合わせて50%以上の回答で男性が優遇されているとする割合が高かった。なかでも、「政治の場で」は合計で66.9%と最も高い割合を示した。

全体的に県の調査（P37参照）と比べても、本市では男性の優遇感が強い結果となった。

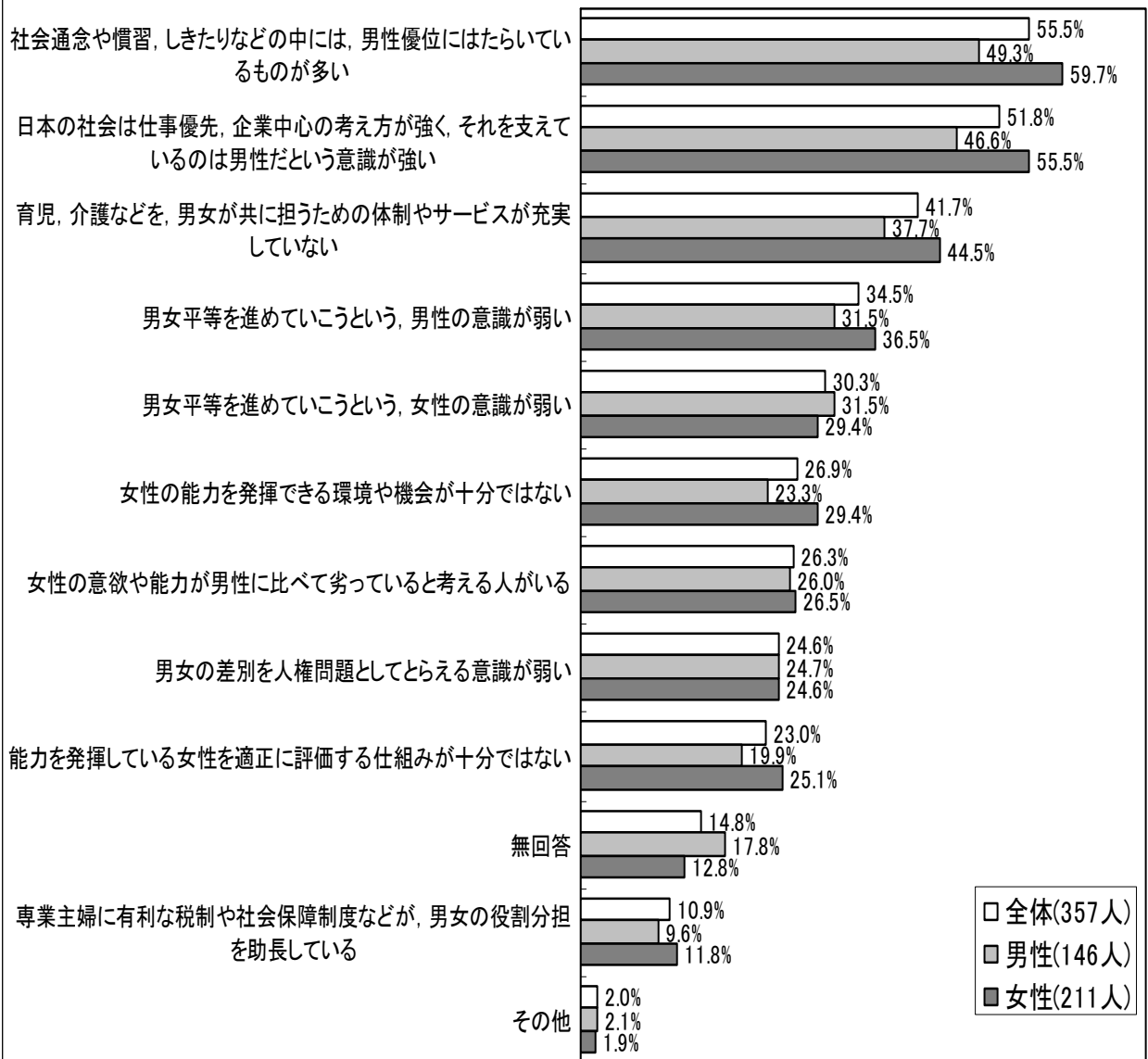


平成17年度(薩摩川内市調査)

問14 あなたは、男女共同参画社会が進まない原因は何だと思われますか。(複数選択)

〔傾向〕 男女ともに、固定的な役割分担意識やこれに基づく社会通念や慣行が、その阻害要因であると考えている。次いで、僅差ではあるが男性は女性の意識を問題とし、女性は男性の意識を問題としている。

〔 男女共同参画が進まない原因 〕



※ 男女共同参画社会とは(男女共同参画社会基本法より)

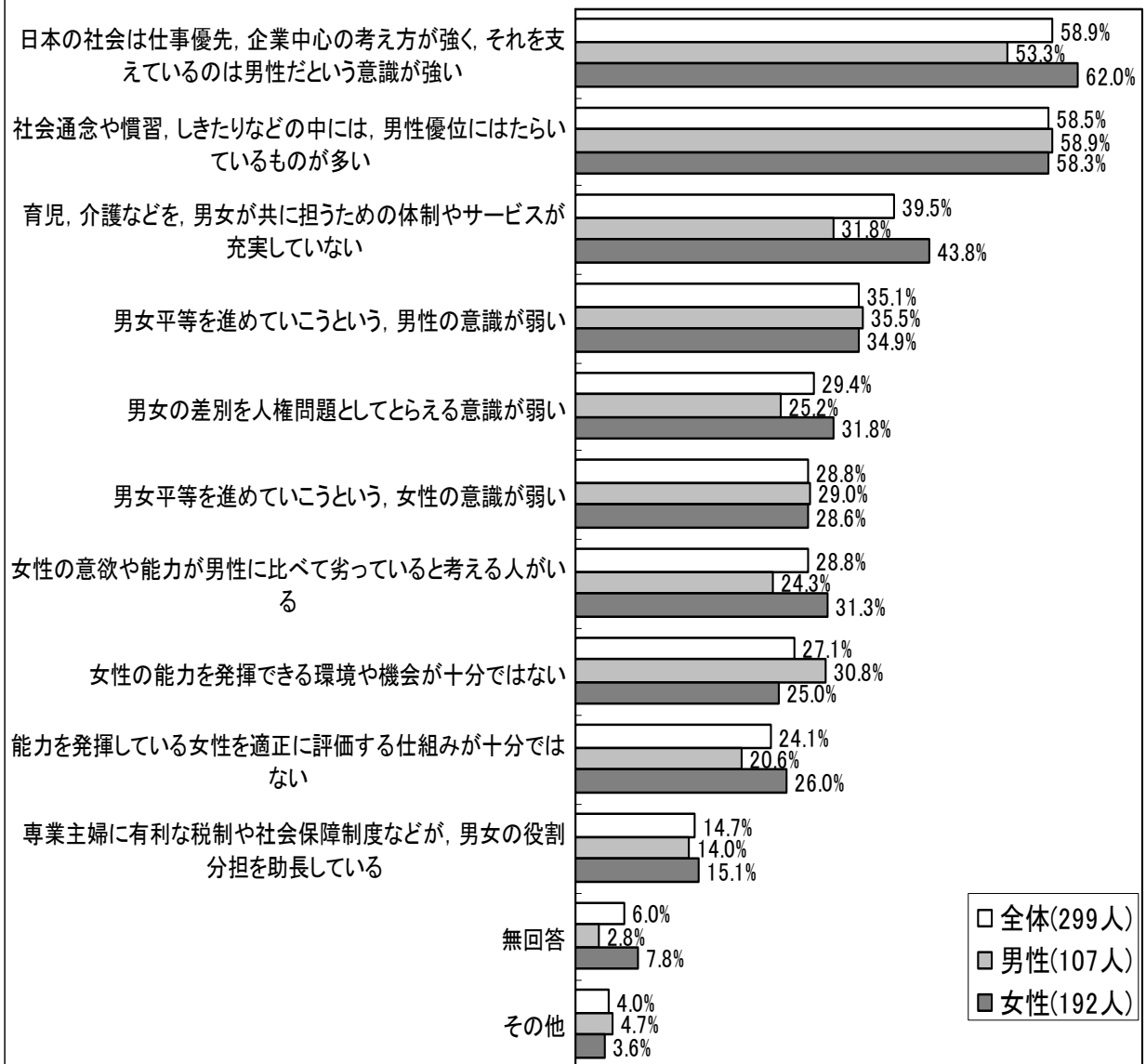
男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会のことです。

平成22年度(薩摩川内市調査)

問14 あなたは、男女共同参画社会が進まない原因は何だと思われますか。(複数選択)

〔傾向〕 男女ともに、固定的な役割分担意識やこれに基づく社会通念や慣行が、その阻害要因であると考えている。

〔 男女共同参画が進まない原因 〕

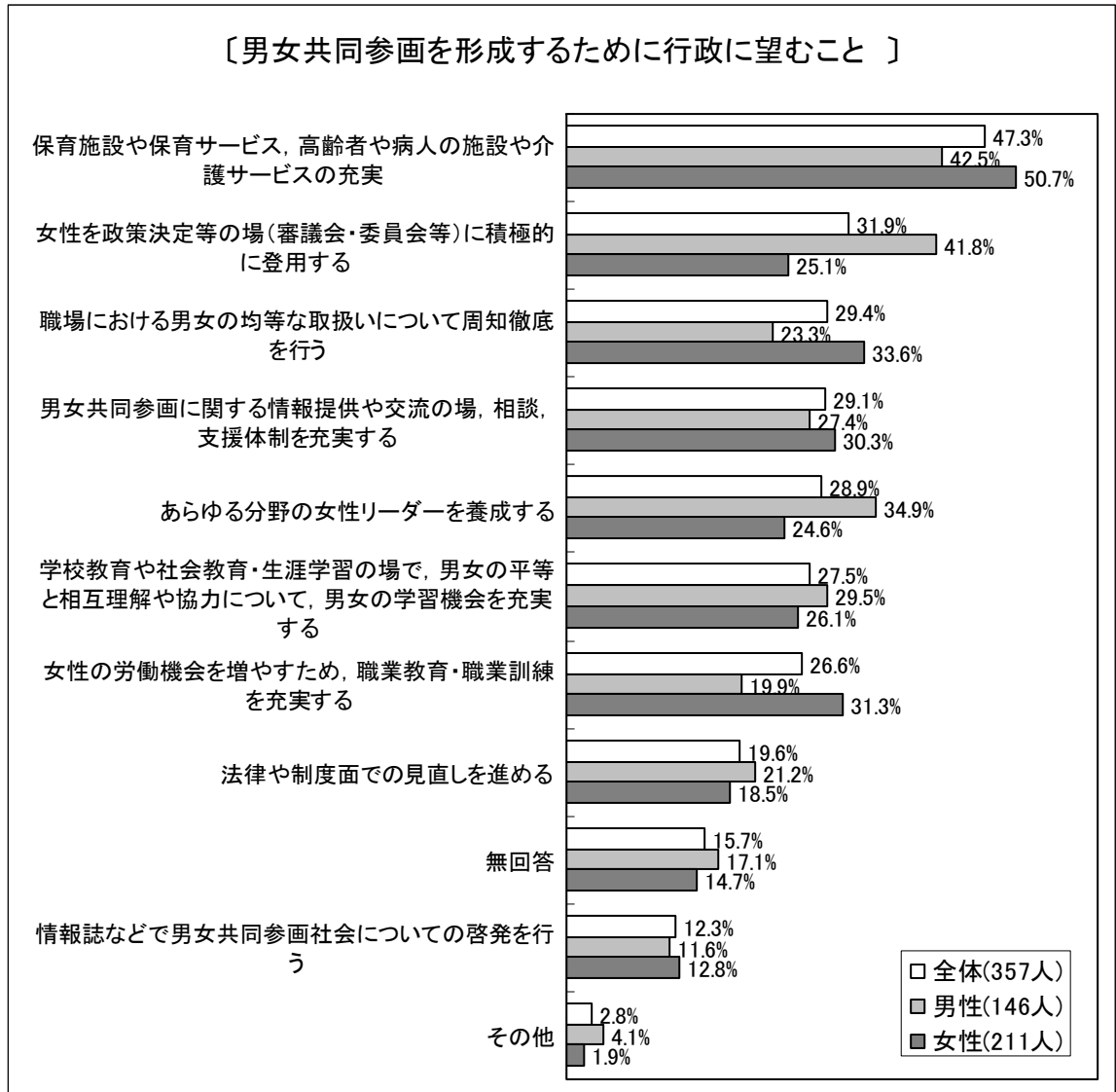


平成17年度(薩摩川内市調査)

4. 『男女共同参画社会の形成に関する意識について』

問15 男女共同参画社会を形成するために、今後薩摩川内市はどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。（複数選択）

〔傾向〕 全体では「育児・介護サービスの充実」と「女性の積極的登用」が上位を占めている。これを男女別に見ると、男性は上位2項目についてはほぼ同数（約40%強）で、女性は「育児・介護サービスの充実」が50.7%と非常に高い。
また、女性の登用や、リーダーを望む男性が多いこと、女性は、女性自ら学習する機会や情報を望んでいることがうかがえる。

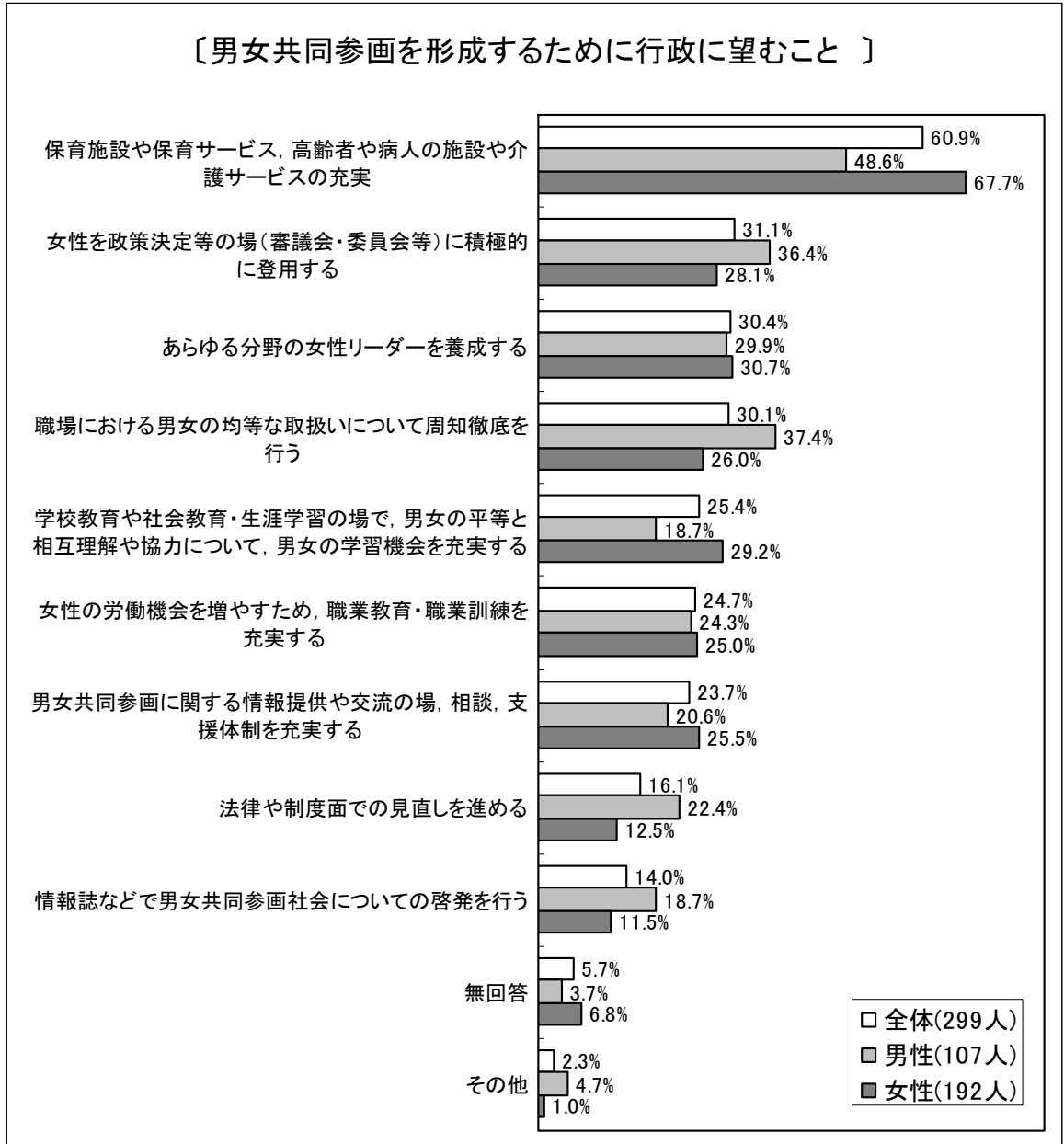


平成22年度(薩摩川内市調査)

4. 『男女共同参画社会の形成に関する意識について』

問15 男女共同参画社会を形成するために、今後薩摩川内市はどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。(複数選択)

〔傾向〕 全体では「育児・介護サービスの充実」と「女性の積極的登用」が上位を占めている。これを男女別に見ると、男性、女性ともに「育児・介護サービスの充実」が非常に高い。次いで、男性は女性の登用や職場における均等な取扱いを望み、女性は、リーダーの育成や女性自ら学習する機会を望んでいることがうかがえる。



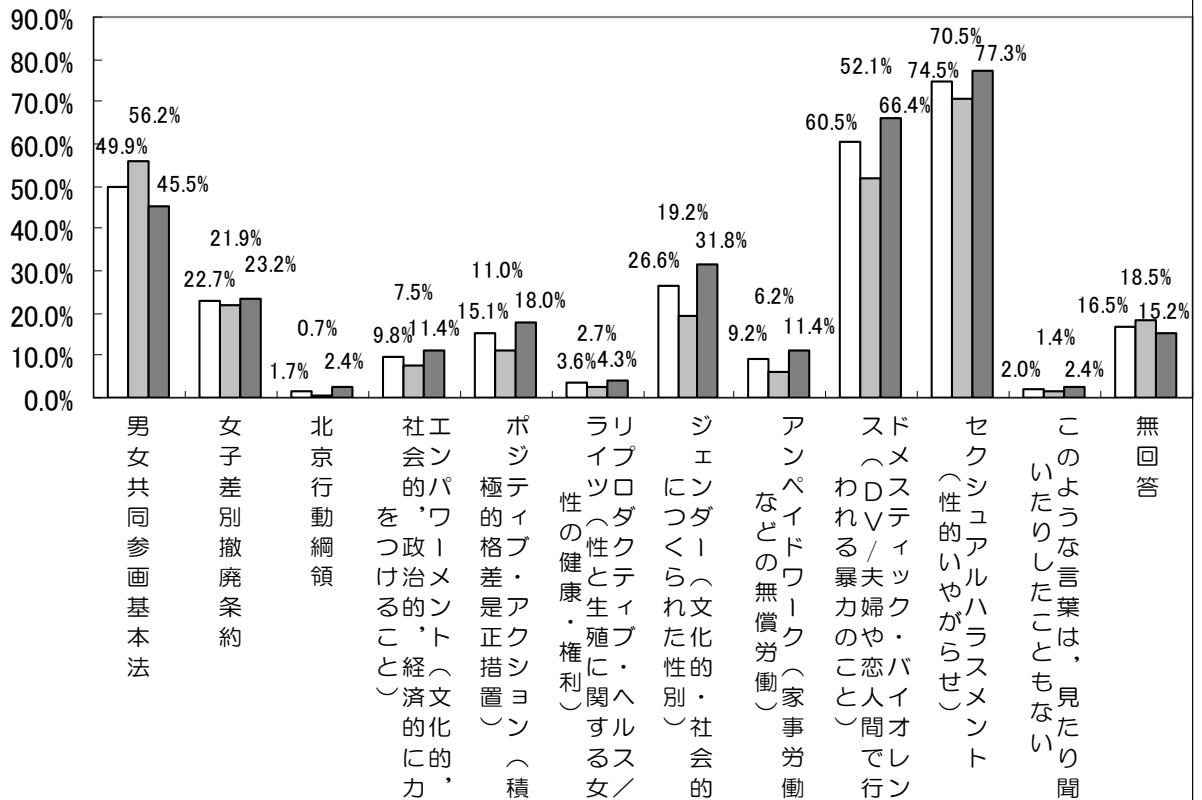
平成17年度(薩摩川内市調査)

問16 次の用語のうち、あなたが見たり聞いたりしたのがありますか。(複数選択)

〔傾向〕 法制化されたためか「セクシュアル・ハラスメント」と「ドメスティック・バイオレンス」, 「男女共同参画社会基本法」についての認識度が高い。
前回と比較すると、全体的に認識度のパーセントが高くはあるが、一般に男女共同参画に関する用語が使われているもの以外の用語は、かなり低い結果となった。これについてはより一層の啓発が必要である。

〔 男女共同参画に関する用語の認識度 〕

□ 全体(357人) □ 男性(146人) ■ 女性(211人)



平成22年度(薩摩川内市調査)

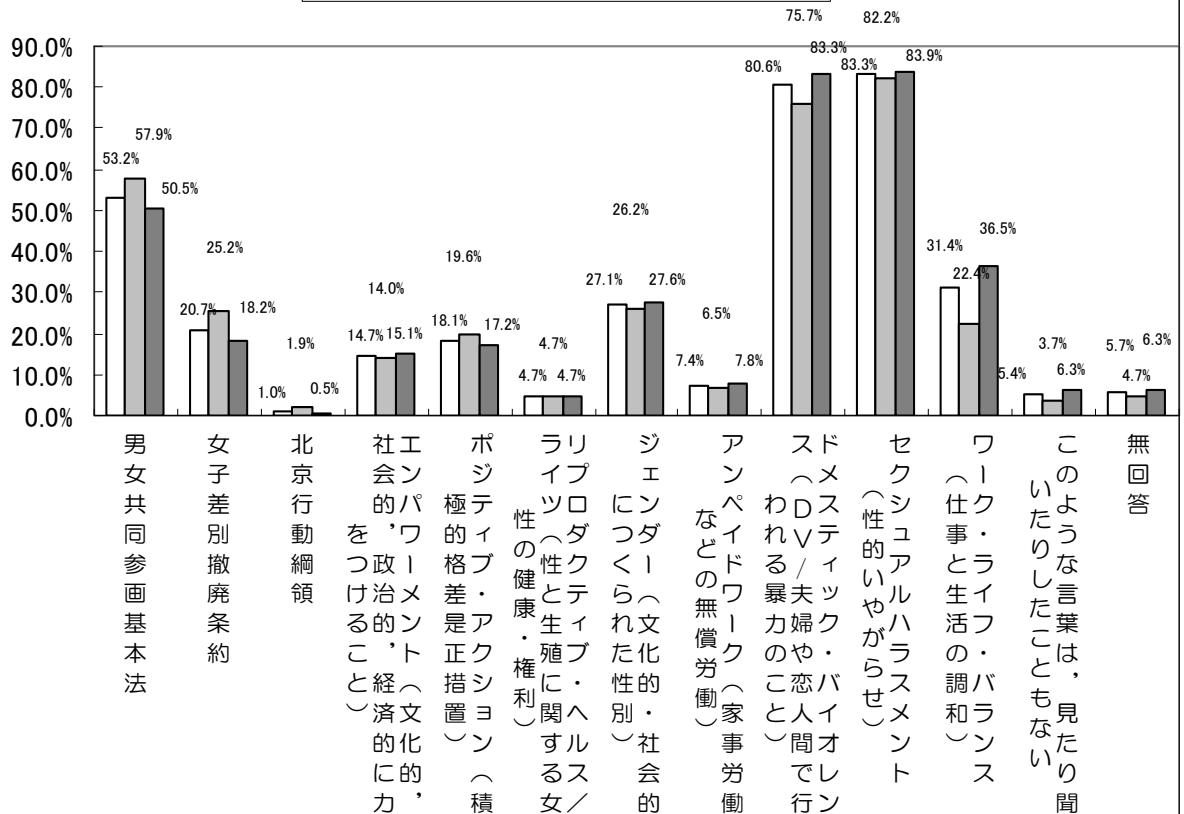
問16 次の用語のうち、あなたが見たり聞いたりしたものがありますか。(複数選択)

〔傾向〕 法制化されたためか「セクシュアル・ハラスメント」と「ドメスティック・バイオレンス」, 「男女共同参画社会基本法」についての認識度が高い。「無回答」が前回より減ったのは、全体の認識度が高まったからではないか。

前回と比較すると、全体的に認識度のパーセントが高くはあるが、一般に男女共同参画に関する用語が使われているもの以外の用語は、かなり低い結果となった。これについてはより一層の啓発が必要である。

〔 男女共同参画に関する用語の認識度 〕

□ 全体(299人) □ 男性(107人) ■ 女性(192人)

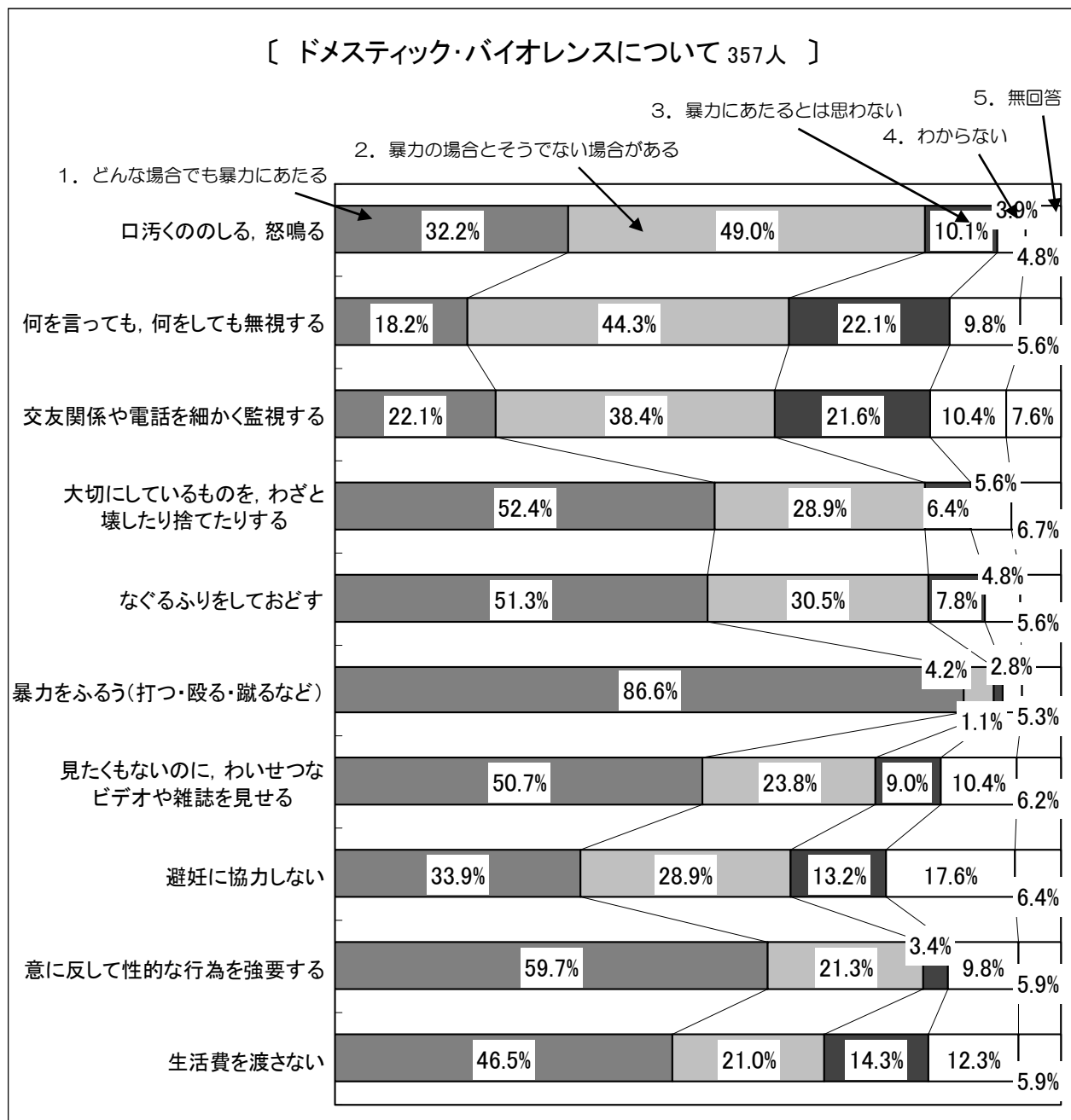


平成17年度(薩摩川内市調査)

5. 『ドメスティックバイオレンスについて』

問17 あなたは、夫婦間または親しい間柄の男女の間で行われる、次のような行為は暴力にあたると思われますか。(複数選択)

〔傾向〕 「身体的暴力」や「性的行為の強要」はどんな場合でも暴力にあたると思っているものが多いが、それ以外の精神的暴力や性的暴力などは、暴力にあたるとする認知度が低い結果となった。

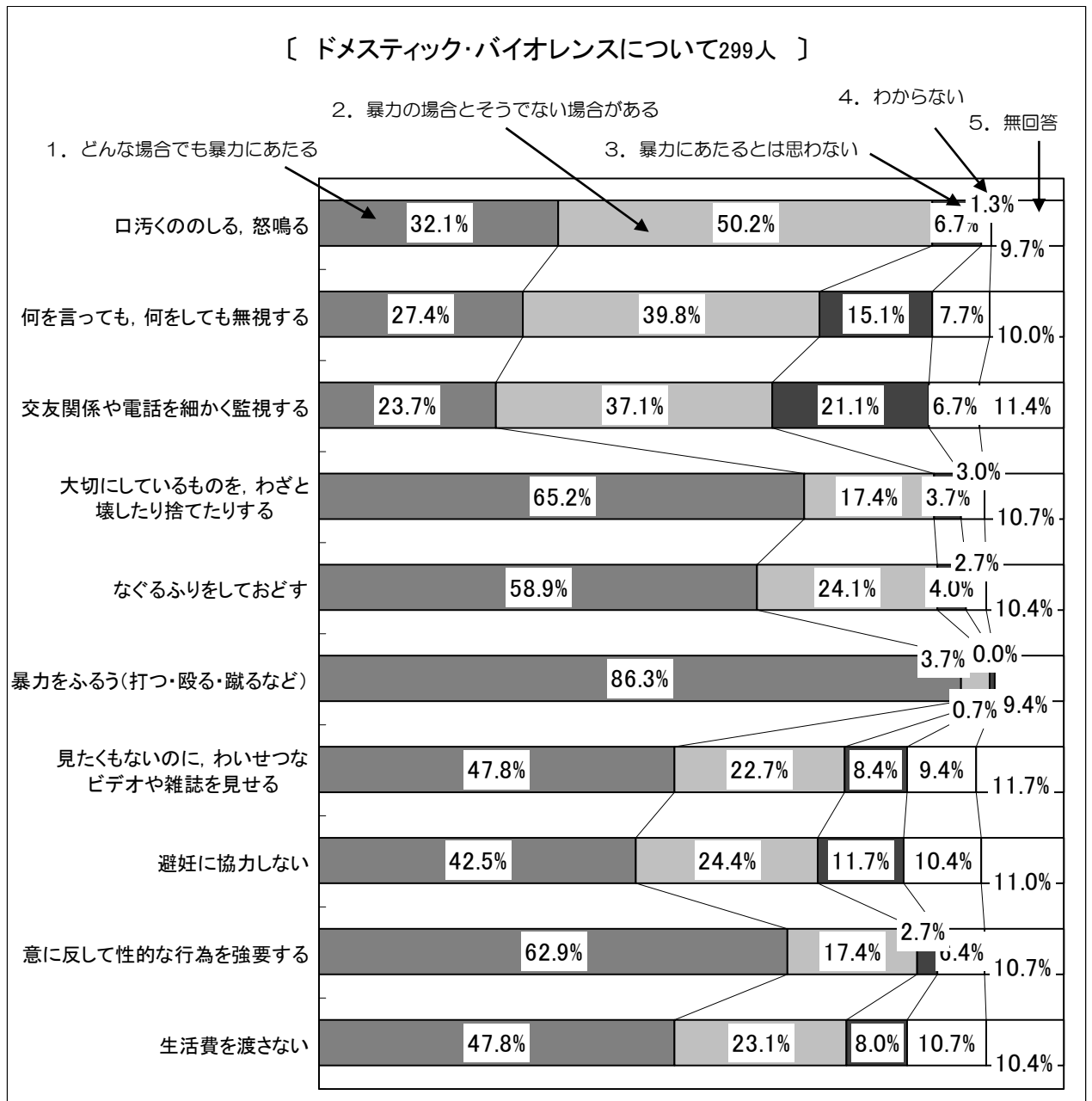


平成22年度(薩摩川内市調査)

5. 『ドメスティックバイオレンスについて』

問17 あなたは、夫婦間または親しい間柄の男女の間で行われる、次のような行為は暴力にあたると思われますか。(複数選択)

〔傾向〕 「身体的暴力」や「性的行為の強要」はどんな場合でも暴力にあたると思っているものが多いが、それ以外の精神的暴力や性的暴力などは、暴力にあたるとする認知度が低い結果となった。



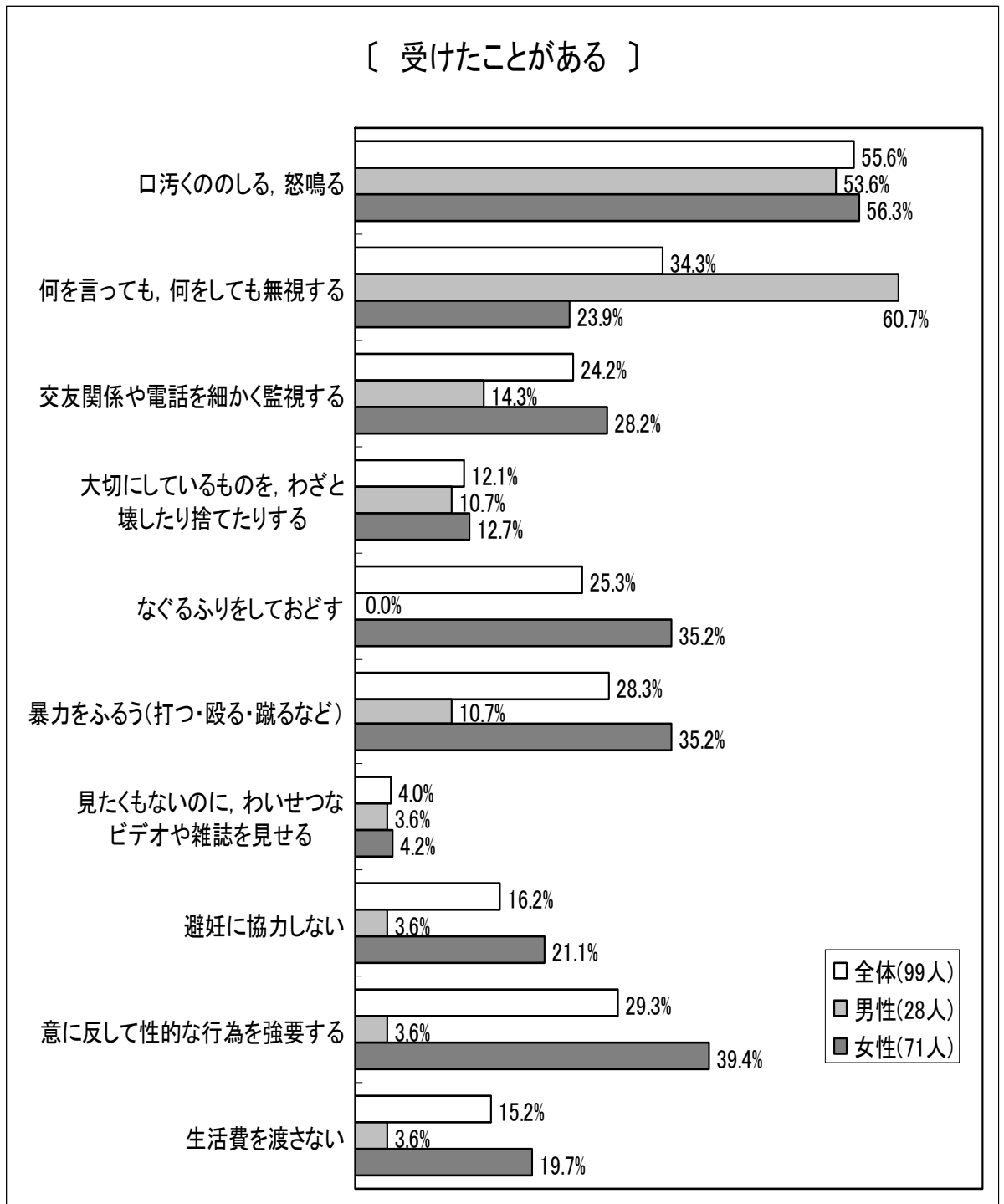
平成17年度(薩摩川内市調査)

問18 あなたは、配偶者や恋人などの親密な間柄にある異性から、問17の(1)～(10)までにあげたような行為を受けたり、または自分でしたことがありますか。

〔傾向〕 「口汚くののしる、怒鳴る」や「何を言っても、何をしても無視する」などの精神的暴力が比較的に高い割合を示した。

次に「あなたの意に反して性的な行為を強要する」の性的暴力、「暴力をふるう」の肉体的暴力・「なぐるふりをして、あなたをおどす」の精神的暴力、の順であった。

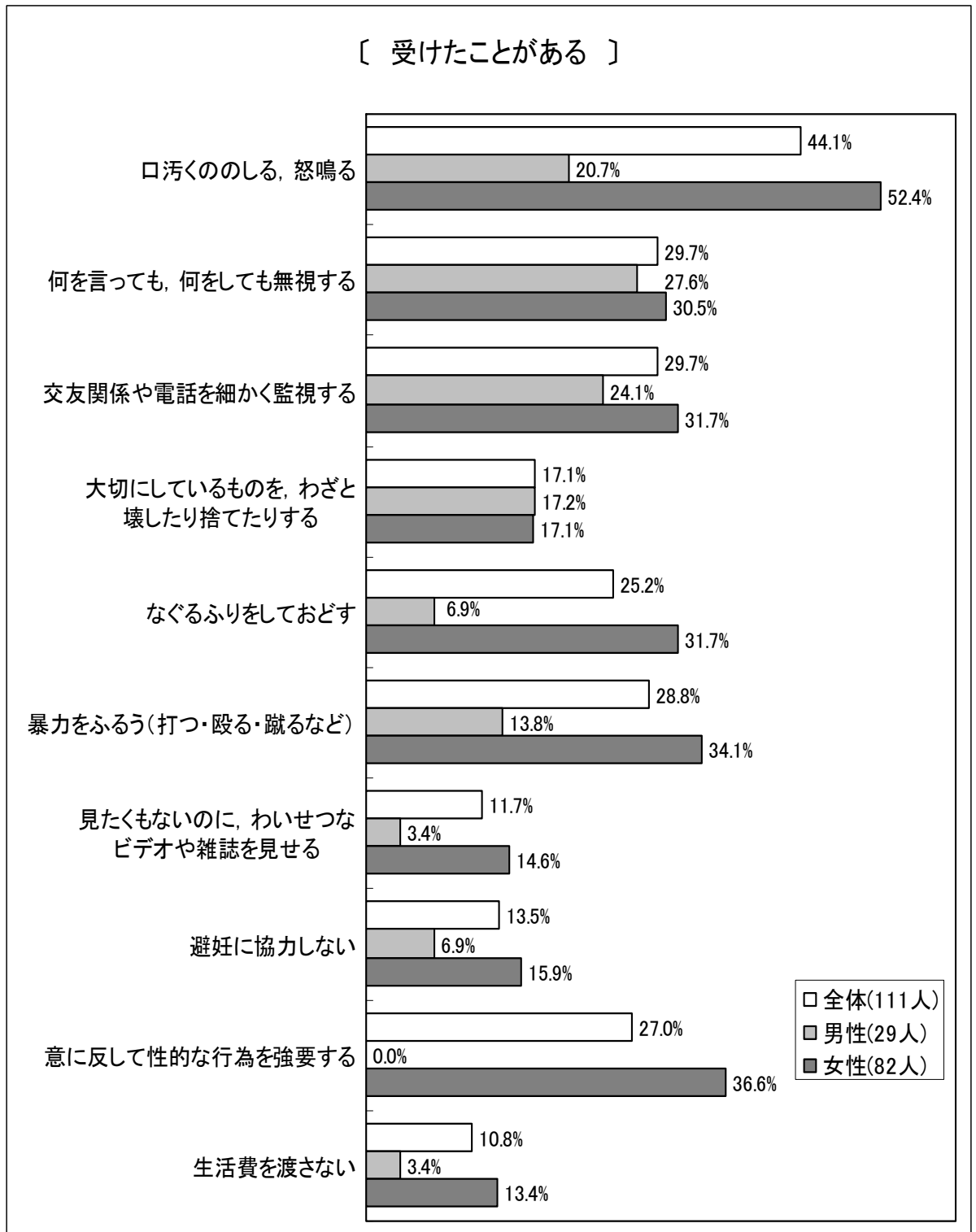
DVを受けた女性が、70%をしめている。



平成22年度(薩摩川内市調査)

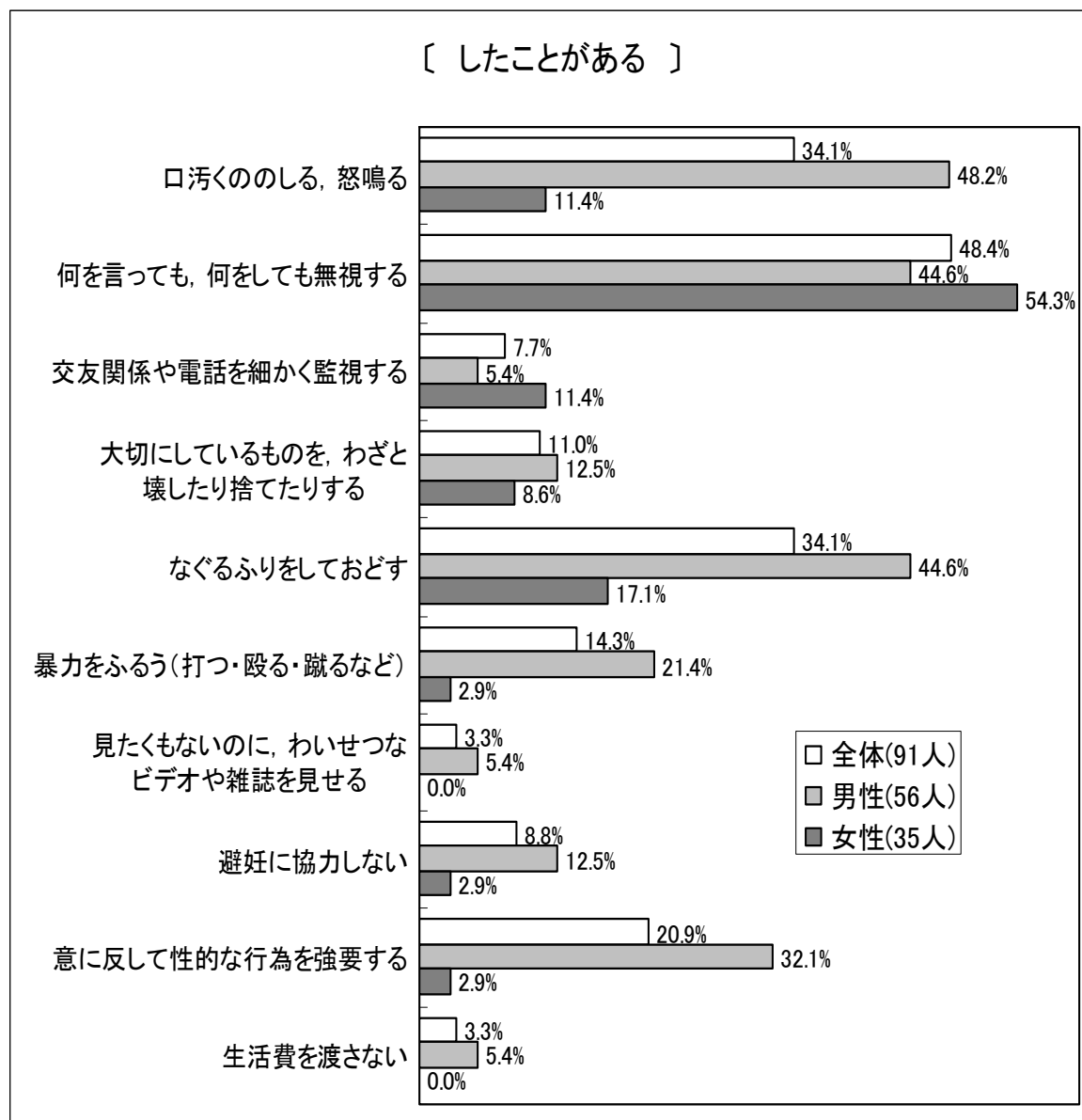
問18 あなたは、配偶者や恋人などの親密な間柄にある異性から、問17の(1)～(10)までにあげたような行為を受けたり、または自分でしたことがありますか。

〔傾向〕 「口汚くののしる、怒鳴る」や「何を言っても、何をしても無視する」などの精神的暴力が比較的に高い割合を示した。
次に「暴力をふるう」の肉体的暴力、「あなたの意に反して性的な行為を強要する」の性的暴力・「なぐるふりをしておどす」の精神的暴力の順であった。



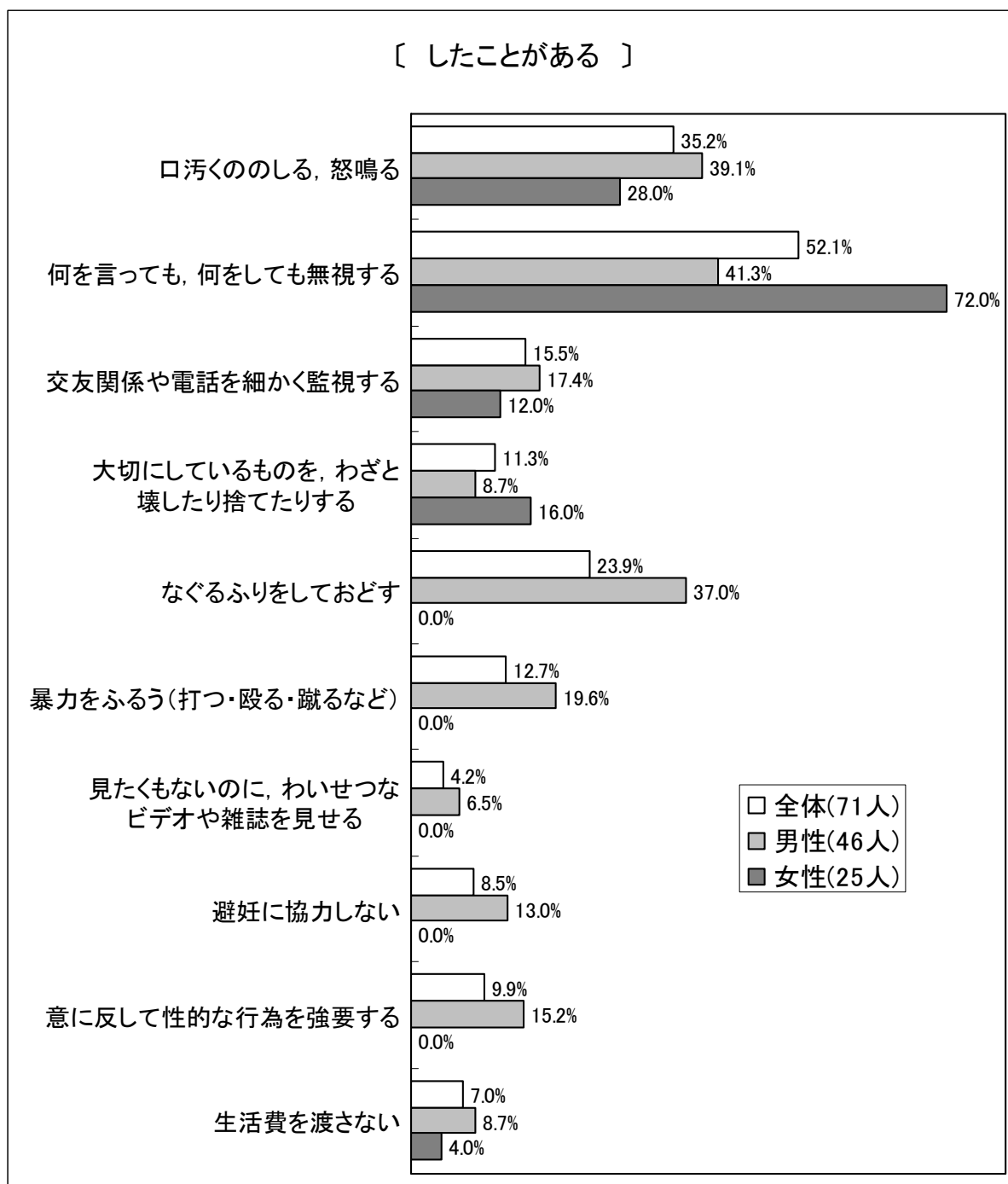
平成17年度(薩摩川内市調査)

〔傾向〕 受けたことがあると同様「何を言っても、何をしても無視する」や「口汚くののしる、怒鳴る」「なぐるふりをして、あなたをおどす」などの精神的暴力が、比較的に高い割合を示した。次いで「意に反して性的な行為を強要する」、「暴力をふるう」の身体的暴力の順であった。



平成22年度(薩摩川内市調査)

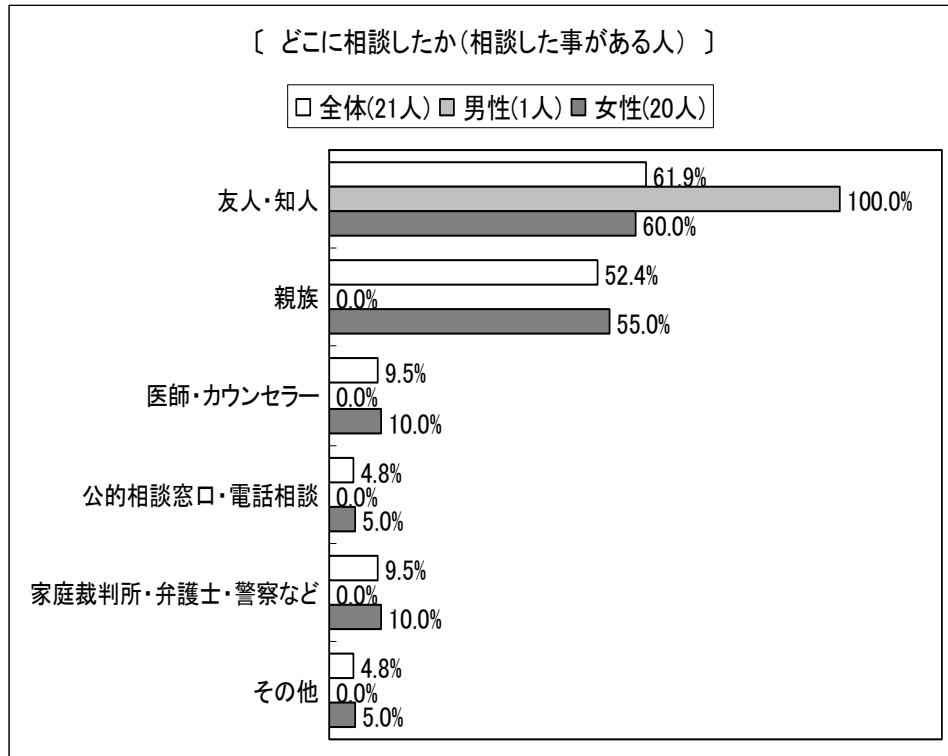
〔傾向〕 受けたことがあると同様「何を言っても、何をしても無視する」や「口汚くののしる、怒鳴る」「なぐるふりをしておどす」などの精神的暴力が、比較的に高い割合を示した。次いで「暴力をふるう」、「意に反して性的な行為を強要する」の身体的暴力の順であった。



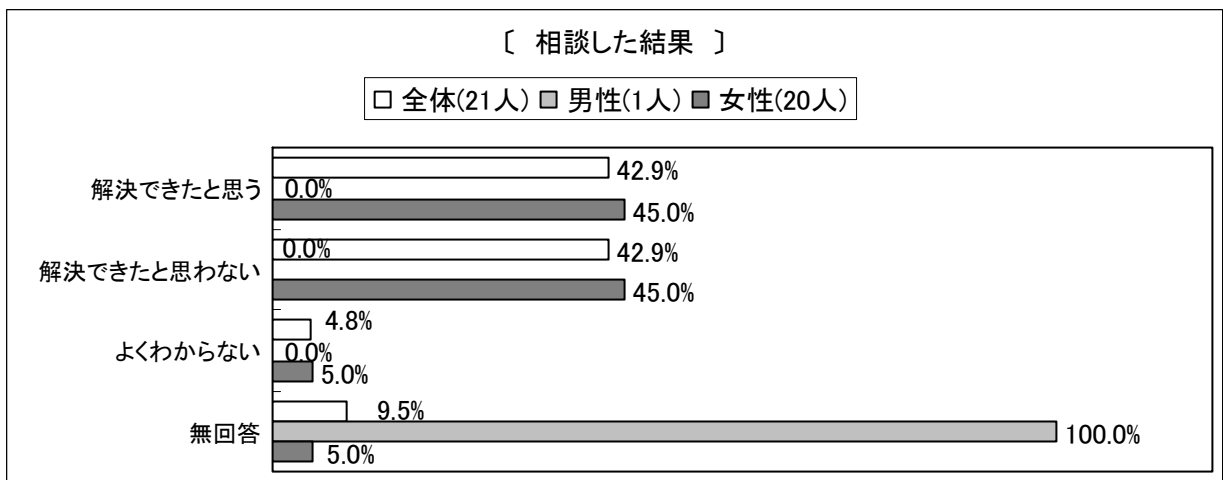
平成17年度(薩摩川内市調査)

問19 問18の「受けたことがある」(①から⑩)のいずれかに○印をされた方にお尋ねします。あなたは、その行為を受けたことで誰かに相談したことがありますか。(複数回答)

〔傾向〕 「暴力」を受けているということを、他に相談しても解決するまでにはなかなか至らず、医師・カウンセラー、公的窓口等の利用者は少数という結果であった。DVは潜在化する傾向が強いといわれているが、本市においても例外ではなかった。



※ 男女共に、友人・知人、親族に相談したとの回答が60%を越えている。

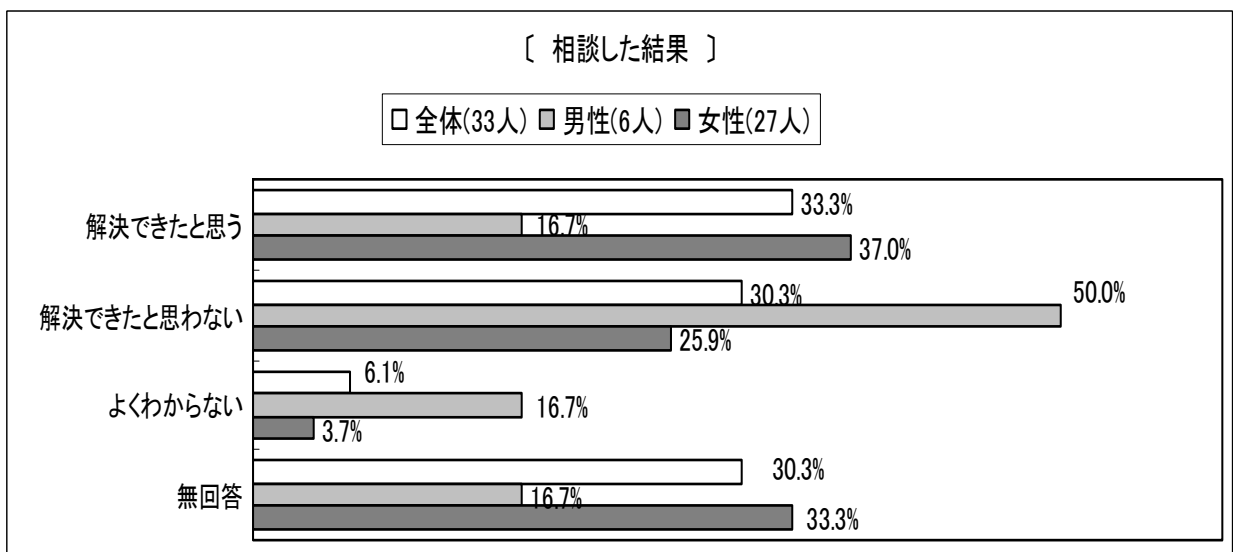
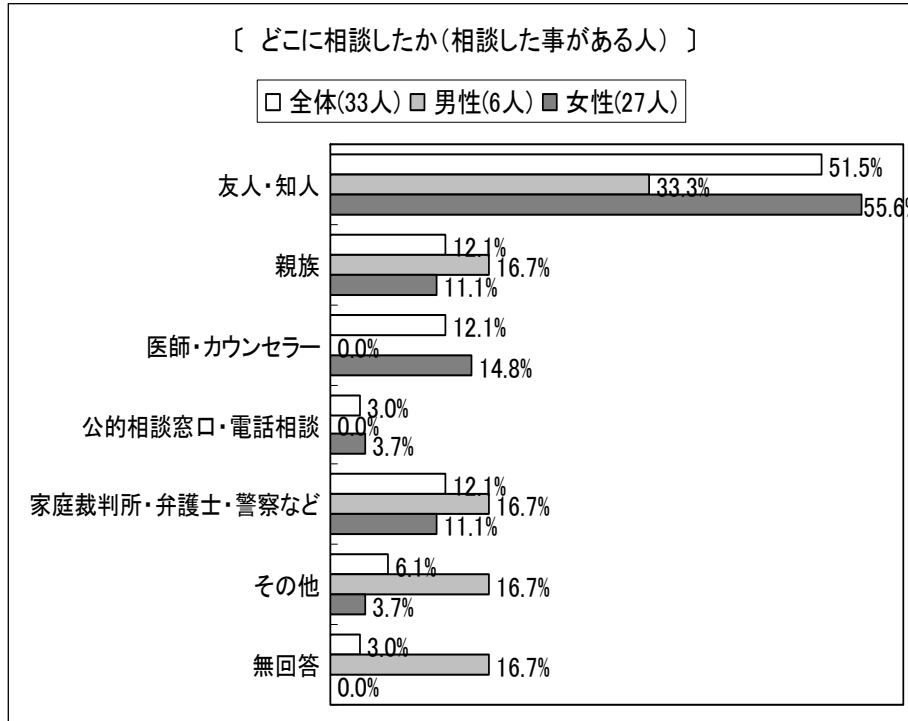


※ 女性は相談したことで解決したと思っているものが約半数で、それだけでは解決できなかったものも半数であり、男性が1人しかいないことから、特に女性の方が問題を抱えている現状が浮き彫りとなった。

平成22年度(薩摩川内市調査)

問19 問18の「受けたことがある」(①から⑩)のいずれかに○印をされた方にお尋ねします。あなたは、その行為を受けたことで誰かに相談したことがありますか。(複数回答)

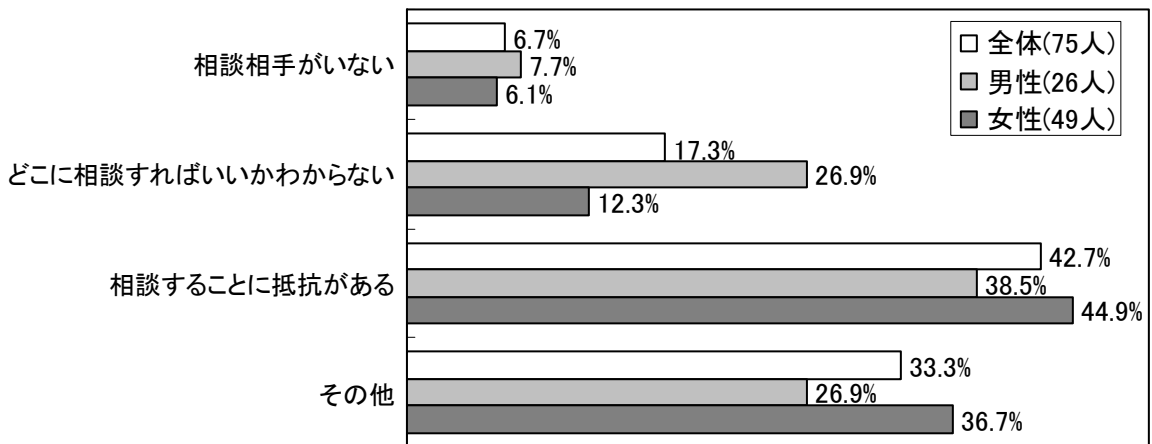
〔傾向〕 「暴力」を受けているということを、他に相談しても解決するまでにはなかなか至らず、医師・カウンセラー、公的窓口等の利用者は少数という結果であった。DVは潜在化する傾向が強いといわれているが、本市においても例外ではなかった。
前回に比べ、「親族」に相談する割合が減少し、対外的な相談窓口の利用が増えている。



※ 相談したことで解決したと思っているものが3割で、それだけでは解決できなかったものも3割であり、簡単には問題を解決できる状況には至っていない。

平成17年度(薩摩川内市調査)

〔 DV被害にあったときに相談しない理由 〕



※ 「相談することに抵抗がある」が最も多かった。

※ ドメスティック・バイオレンス (DV) とは

配偶者や恋人など、親密な関係にある異性からふるわれる暴力のことを言います。親密な関係には、結婚している夫婦だけでなく、同棲相手や婚約者、付き合っている異性、別れた配偶者や恋人なども含まれます。

配偶者等からの暴力は、重大な人権侵害であり、男女共同参画社会を形成するうえで克服すべき重要な課題です。

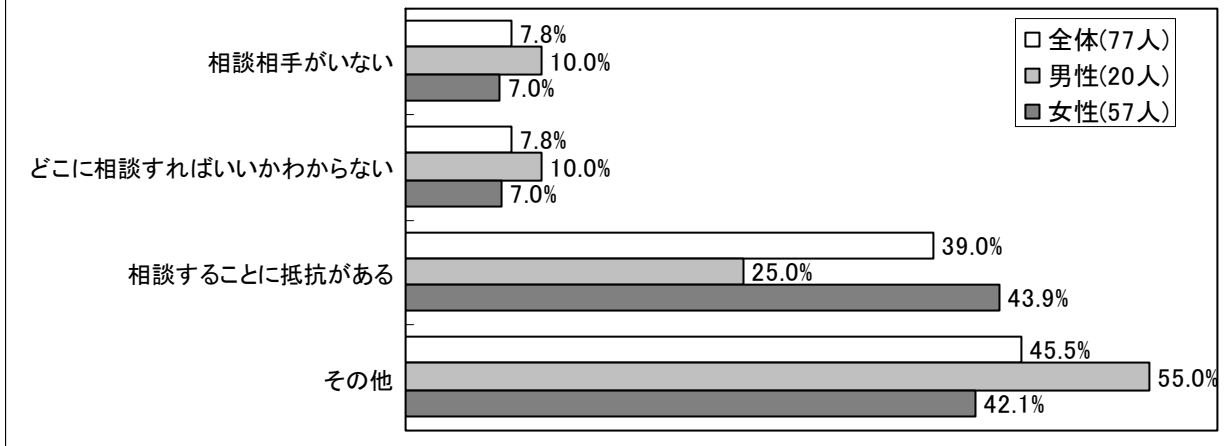
※ DV防止法とは

配偶者からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）を防止し、被害者を保護するために「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（通称：DV防止法）が平成13年10月13日から施行されました。

これは、夫婦ばかりではなく、事実婚状態にある方や、もと配偶者などから暴力を受けている方も救済の対象となります。裁判所に申し立てをすると、加害者に6ヶ月の接近禁止や、2週間の住宅退去を命じることができ、これに違反すると1年以下の懲役または100万円以下の罰金が科せられます。

平成22年度(薩摩川内市調査)

〔 DV被害にあったときに相談しない理由 〕

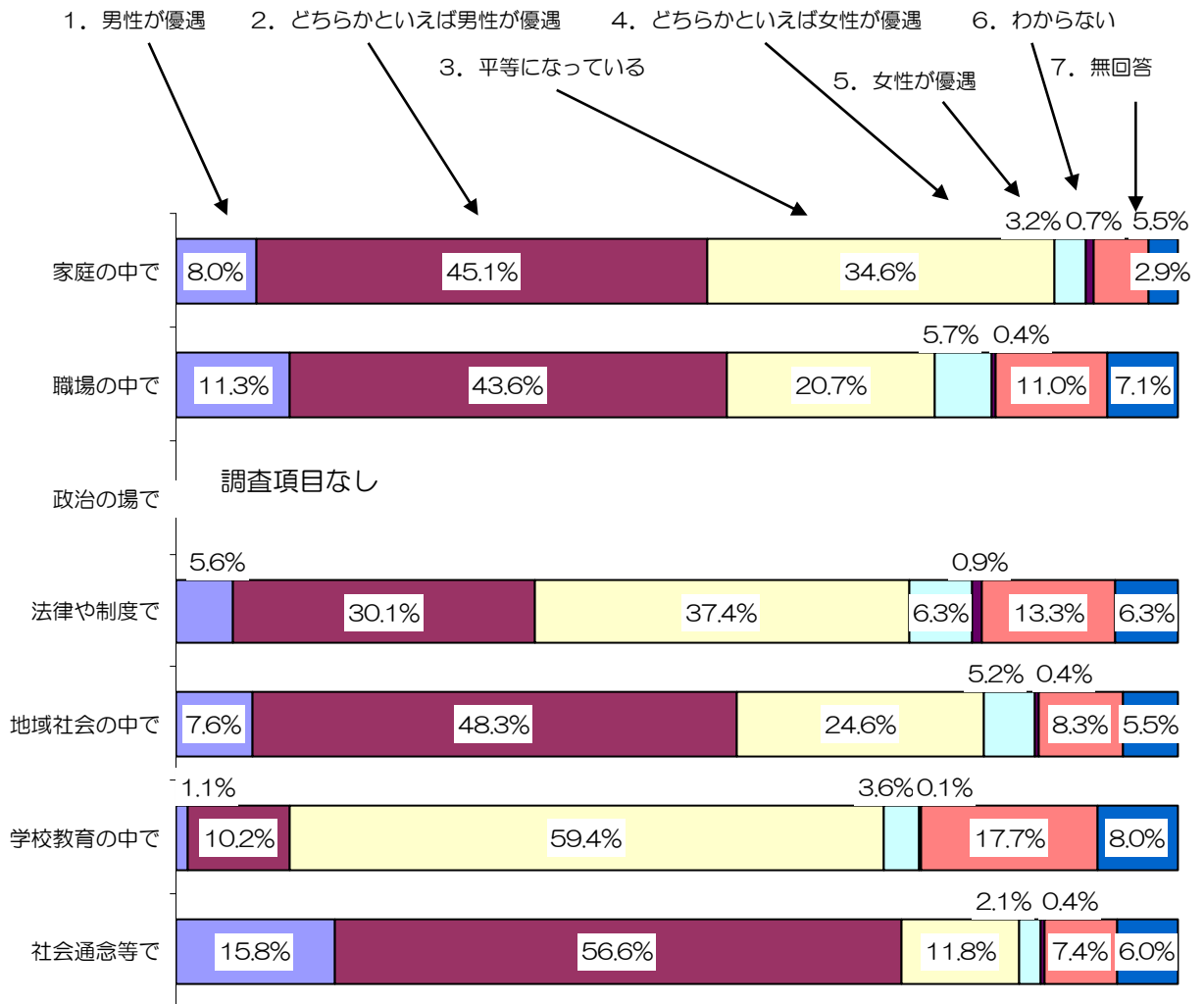


※ 女性は、「相談することに抵抗がある」が最も多かったが、男性は相談するまでもなく自己解決を目指すとの回答が最も多かった（その他の項目で多数記入あり）。

前回に比べて、「どこに相談すればいいかわからない」と回答した割合が減った。相談機関の周知や認識が進んできたと思われる。

平成19年度(鹿児島県調査)

〔 鹿児島県調査（H19 N=1,119） 〕



Ⅲ. 参考資料

1. その他意見（抜粋）

問1 「男は仕事，女は家庭」という考え方がありますが，あなたはこの考え方についてどう思われますか。

・出来る方がすれば良いと思う。

問2 女性が職業をもつことについて

・ある程度子供が大きくなるまでは子供の傍らにいてあげたいので，自分もそうやって育ててもらいました。

・個人の自由意志でよい。

・家庭と両立出来る程の仕事を持った方が良い。

・仕事をする機会がある方はすればよい。

・相手の収入による。働かないと生活できない場合，仕方ない。

・女性の意思と家庭の事情を考慮する。

・本人の自由意志尊重

・本人と家庭との考え方によればいい。

・職業をもつことで，自立が可能となり，次世代作りが遅くなるのではないか。少子化は共同参画の成果でもある。

・本人の意思を考える。

・女性の自由にさせるべきだ。

・各々の価値観で各自が決めることと考えます。

・小学校に入学するまでは，子育て中心で，小学校にあがったら，子育てに支障がないようなローテーションの組める仕事，家庭も大事に出来る仕事が理想。

・基本的には，4だが，その時の状況，人それぞれだと思う。

・本人が決めること。続けたい意思があれば，続けられる限り続けてもいいと思う。

・心に余裕があれば，仕事をすれば良い。

・働きたい気持ちがあればやるべきだと思うが，家族をおろそかにしてまで働く事には反対，職場環境にもよるかと思う。

・個人の自由

・その家族の事情などもあるのでどうともいえない。

・健康であるならば続けた方がいいと思う。気持ち的に人とのふれあいに感謝。

・時と場合による

・本人が決めること。

・その人の好きにすればよい。
・職業をもちたい人はもてばいいし、もちたくない人はもたなくてよい。
・両立が可能なら職業を持った方がよい。
・女性の意見を尊重する。
・配偶者，夫，妻支えて行く為，両立が可能であれば問わない。
・家族で支え合えたら，どちらでもよい。
・個人の自由，経済状況にもよると思う。

問3 女性が職業を持ちつづけることを困難にしたり障害となる理由

・子供が小さいという理由で面接に落とされた。
・近距離に働く場所が無い。
・子供の躰が重要，家庭的に育成
・子供の帰宅時間に合わせて，終業できるようなシステムがほしいですね。仕事時間を自分で組み立てられたら・・・。
・結婚しないで35年働いて来たので答えようがありません。
・今と昔は違いますけれど，昔は子供の事ばかりかまっていられませんでした。
・保育所の金額が高く，パートに出ても，たいした稼ぎにならない。
・家族の協力で成し，さまだけとなる問題があればのり切って行けると思う。
・保育所がたりない。安心して働く事が出来ない。

問4 あなたは，女性が国会議員や県議会議員，市議会議員，農業委員などの公職に就いて，政策などの立案や決定に女性の意見をもっと反映するようにした方がよいと思われますか。

・自他共に適正だと認めるなら
・その人に能力が有るのなら

問5 政策・方針決定過程へ女性の参画が少ない理由

・女性に限らず，男性も口先だけでいざ行動に移そうとすると私にはできないとすぐ逃げる。
・女性議員が少ないから。
・女性として，性の違い，男性は男性として，女性としての役割がやはりあるはず。
・参画できる機会を得られない。方法がわからない。
・九州ではでしゃばる女性をこころよく思っていない。

・同性のしつと。島国根性も大いにあると思う。
・質問の意味が理解できません。
・男社会の慣習
・自分の部落に力がはいりすぎだと思う。
・家庭のやりくりで手一杯で余裕が無い。主人の会社での地位が危うくなる。(反体制の政治活動の場合)
・女性も男性も政治や行政に参加して、何を思い何を言い、何をするかが大切。良い事と思う事も多いですが、“こわい”と思う女性の発言も多いと思います。
・いまだに女性に男性依存の体質が強い。
・分からない。

問6 「男性はもっと地域活動や、家事、育児、介護などに参加する必要がある」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思われますか。

・男性の職場がハードな場合、協力は難しいし、向き不向きがあると思います。
・協力的な方もおられると思いますので、柔軟な対応を。

問7 高齢者介護の分担について

・自分の両親は、自分が主体になり受け持つ方が好ましいのではないかと思います。
・男性が仕事のときは女性、休みのときは男性。ショートステイ活用。訪問介護活用。
・やれる方が交互に受け持てば良いと思う。
・②にしましたが、実際我家で主人の母をみましたが、息子にして貰うと時は本人(母)、息子もなんとなく気をつかいすぎました。
・女性だけに負担があると精神的なものになりやすい。
・ここで女性、男性という考え方、人としてどうかという問題だと(人間性)思います！ 現在私自身介護1です。かって、認知病の母を介護しましたが、ケースバイケースで一概には言えないと思います。建前的には公的機関ではいろいろの援助がありますが、実際にはなかなか受け入れられない。
・共同してくれればいいがしてくれない。仕事もしないと生活できないので共同での介護は難しい。
・社会的、地域的受け皿が必要。
・小生は、介護の技術を学ぶためNHKの通信教育を受けている。男性もその様な学習の場に参加し、いざという場合にそなえておくべきだ。
・男にしかできないこと、女にしかできないこともあるでしょうから。
・基本的に2だが、経済的状況では収入の低い方がやらざるえない。
・介護は力仕事なので男手も必要。でも女性は男の方にしもの世話をしてもらう事に抵抗があると思います。

・状況に応じ分担, 女性がした方がいい場合と男性がした方がいい場合がある為。
・各家庭の構成によっても違うと思う。
・一人で抱え込まず協力して, 家族の方にもお願いする。
・女7割, 男3割
・女性は体力がないので, やはり男性の手助けが必要な事をしみじみと実感しました。(母の介護で)
・施設に入所して頂き, 安心して専門の方をお願いする。結果, 安心して仕事出来る。
・男・女ではなく, 家にいる時にその人が対応する。
・なぜか, どちらかにまかせきりにする傾向のある質問が多い。

問8 少子化が進んでいる原因

・女性も仕事をもち, 勤務年数を経ると責任ある仕事, 仕事が面白くなる事もあり, 結婚に消極的になったりすることで子供を出産する時期が遅れたり, 出産や家庭より仕事をとってしまうのではないか。 子育てをしながら, 仕事をする事ができる環境が十分でない。子育ては女性に負担がかかることが多い。
・現代人にはすべてにおいて理解できない, 親たる者はしっかりして欲しい。
・将来に対する漠然とした不安。
・経済的(仕事がない, 賃金が鹿児島は特に安い。)
・自分中心で相手, まわりに対する気持ちが少ない。
・経済難 2人で働かないと子供をつくれな。働く子供をつくりづらい。
・親自身が大人になりきっていない。そんな親に子供の教育, 躾は無理。よって, 子供ほしくない。親となるべき人の教育が先だと思います。
・幸にして, 子供を職場でみながら仕事が出来た自分には問題に合うものなし。
・結婚が遅い, 自分に自信がない。
・食生活の間違いによる性的能力の不足
・核家族化により, 昔のような, 育児に対する考え方が変化した。
・①子供を育てていける安定した職業がない。②リストラ等でみんなびくついている。
・SEX自体が道具化している! 女性も男性無くとも生活出来ると言う時代。
・子供がいてもいなくても老人ホームで最後を迎える人が多くなった。女の方が子育てより自分優先の人が増えて来た。
・環境整備がされてない(保育所等の施設や定員を増やすべき)。
・不妊治療費負担
・出産等の際に働いていない時間が勿体無いと感じる。

・孫の子育てで一番困ってるのが病気の時、預ける場所がない。(市外の為、市内の病児保育所を利用できないし、たびたび仕事も休めない。)夫婦共働きの2人には、二人目を産む計画すら立てられない状況です。
・結婚したくてもできない人がいる。出会いがない為。
・できない人、自立できていない。不妊症
・近所に育児を協力したり、相談できる人がいない。支えてくれる人がいない。
・保育園が少なく、待機児童が多く、安心して子供が産めないのだと思う。

問9 安心して子どもを生み育てるための対策・支援について

・一人親家庭で母親のみ支援はあるが、父親への支援がない男女共同になってない。
・権利の主張が多く義務を果たさない。
・昔の人は、何だかんだで地域や家庭に助けられて育てていた。近所付き合いが大切。
・出産にかかる全ての無料化。会社の理解。
・子育てしやすい環境。
・子供が欲しいと思う気持ちを育てること。
・給料の男女差をなくす。
・子供達は広い公園でせいいっぱい走り廻って遊んでおりましたが、今はそう言う場がないのが問題点！！
・行政が色々考えるべき事がたくさんあるはず。
・保育所の充実。保育所・幼稚園・学校の無料化，給食を含む。その他育児環境の充実。現金支給不要！！
・戸籍上だけ片親という人もいらっしゃるようですが。親に現金を渡すのではなく、親の収入に関係なく、修学旅行、スポーツ少年団、給食無料等、子供に平等に補助が届く事。
・職業の安定，老後の安定
・人間社会の尊厳について，基本的な認識不足で個人感情のみの思考で，子孫の存続等に全く責任感がない。出産，育児の意義の教育を徹底を図ること。(対策として)
・自分の立場ばかりを主張しないで，人としてはどうしなければならないか(論理感)みたいなものが大切だと思います。
・上記全て
・景気の回復。経済的に安定していないと安心して子育てはできないと思うから。
・育児の場所を保育所や家庭だけではなく，地域に設けること，そこに年寄りの方も子供と一緒に触れ合える様な環境があれば，なおいと思う。
・今は祖父母も共働きで育児をいつも応援してやれない現実があり，元気な時は保育園に行けるのですが，病気の時は家族総動員で交代に休みを取って，1人の孫を育てるのに必死です。これ以上孫が増えたらどうすればいいんでしょう。安心して育てられる環境を作ってください。子供はたくさん欲しくても育てられないと言ってます。

・諸外国や国内などの子育てのいい所をまねて、より良くしてはどうでしょうか。住みやすい町にすれば人がおのずと集まります。今回の医療制度(県内初の)はすごくいいと思います。

・現在60～70代世代7～8人と大家族でしたが、何かにつけて、支援などないと何も出来ないのか。

問10 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」育てたほうがよいと思いますか。

・人として社会的ルールを守れ、恥を知る人間になって。

・当然！！ 男の子が女の子の様に女の子が男性化したら、どう思う？！！どうなる！！

・性同一性障害等、幼い頃から違和感のある病気の子もいるから。

問11 児童・生徒の名簿は、男女混合名簿がよいと思いますか。

・何故、そんな事に拘るかわからないので答えられないが、どうでもいいのではという事で③

・そんなくだらないこと、どっちでもよい。

・どっちでもよい。

・雇用、医療、年金など、将来不安のため。

・差別と区別 区分け、種分けはちがう！！

・よく分かりません。

問12 児童・生徒を呼ぶとき、男の子は“君”，女の子は“さん”をつけて呼ぶことについてどう思いますか。

・呼びやすい方でいい。こだわりすぎ。

・子供はそんなこと気にしない。気にするのは、親の方だからだ。

・そんなくだらないこと、どっちでもよい。本人がどう呼んでほしい方にすればよい。

・どっちでもいい

・自分もそうだったので、みんな「さん」呼びに違和感がありました。

・男の子—くん、女の子—さんで分けているなら、男女共に「さん」で良いのでは？

問14 男女共同参画社会が進まない原因

・男性にできる事・できない事、女性にできる事・できない事があり、男女平等にしてもできない事はやろうとしない傾向にある。男女平等論は、ちゃんと仕事をしている人達に対して不平等である。

・地域性もあると思いますが、鹿児島は特に男性優位な場面が多い様に感じます。何がそんなに偉いんだろう・・・と思うような事もちらほらあります。

・意識があっても行動できない。

・男女は、そもそも平等であるはずがない。性別が違うと言うことは、差別ではなく、区別である。生物学でも別物である。
・男女共同参画社会は十分進んでいる。
・男女共同参画と言っているのに「男性が」「女性が」と言っていること。
・同じ仕事をするから平等という考え方があるから、うまく行かない。もともと、男性と女性は働きが違うと思います。人としては平等。働く＝お金ではなく、働く＝人のために働くと考え、家庭の中では特に外に出て働く夫に妻が感謝し、育児・家事・介護に頑張る妻に夫が感謝していけば、これからの社会も良いと思います。
・男性・女性と考えることが差別を産んでいる。
・女性の側に夫に扶養されている方が楽だという考えを持ってる人が多い。
・役にふさわしい能力があれば、そして健康でいる方は、特に、そのありがたさを感じつつ、つとめて下されば、おのづと協力者などいると思うので、優劣、サービスといった、保障ばかりを頼らなくて良いのでは。

問15 男女共同参画社会の実現のために、薩摩川内市に望むこと

・物価がかなり上がっているのに最低賃金が全国最低額とゆうのを男女平等を唱える前にそっちをやるべき。
・女性向きの仕事・男性向きの仕事があるので、職業別での賃金差別を少なくする方が先である。
・女は家を守るべきで、男女共同参画社会は必要ないと思っている。
・男性、女性の意見と思う前に一個人としての意見としてとらえること。このアンケートにある性別を問う設問をなくす。
・市役所など官公庁で夫婦で働かず、若い人材の働く場を作る事。
・女性の能力向上。
高齢者が1人でも行ける施設が近くに欲しい。
家庭、仕事の両立については、夫妻で力を合わせて、サポート出来る事が望ましいと思う。

問16 次の用語のうち、あなたが見たり聞いたりしたのがありますか。

・あくまでも日本語表記の方が、単語だけの理解は身近に感じにくい事も。DVなら家庭内暴力とすれば、それで良いと思う。

問17 あなたは、夫婦間または親しい間柄の男女間で行われる、次のような行為は暴力にあたると思われますか。

・この問題は昔より公序良俗に反することであり、私の人生では経験した事がない、従って私に対しては愚問である。
・このような様子が長引くのであれば、話し合いにも応じない、逆効果などあれば、ガマンをしたり、私が悪いのではと思う事にいたらない前にどういった経緯でこのような事になるか、下記の様にはなれるなど、心の病ともとれるし、犯罪でもあると思いますから、一緒に居る同情も何も無いと思います。

問18 あなたは、配偶者や恋人などの親密な間柄にある異性から、次のような行為を受けたり、または自分でしたことがありますか。

- ・たまに喧嘩すると怒鳴ったりするでしょう。
- ・飲んだとき
- ・現在配偶者は無く、両親との同居ですので、下記のような事はありません。

問19問18の「受けたことがある」（①～⑩）に○をされた方にお尋ねします。あなたは、その行為を受けたことで相談したことがありますか。

- ・ぐちる事はある。

問20その他

- ・相談するほどの事ではない

問21相談したことで解決できたと思いますか。

- ・警察に関しては、民事に入れないという理由からあまり頼りにはならなかった。家裁も相談したが、全く頼りにならなかった。（事務的すぎる）子育て支援の方はよく話を聞いてくれ心強かった。

問22 暴力などを受けたときに、相談しなかった理由

- ・めんどくさいし、金がかかる。
- ・自分自身で解決する。話しても他人には、判らないと思う。口先ではいい事を言うので。
- ・たまに喧嘩して、チョッと怒鳴る、一言二言誰でも声が大きくなることはあるでしょう。質問が少し不適切な感じがしますが、口汚くののしるだのの項目で良かったのでは？ 怒鳴って…どれぐらい？大きな声を出すことは、1～2回ありますよね。
- ・お互いに若い時だったので子育てに又生きる為に必至であった。
- ・自分が弱いから自分を強く変えることが必要である。
- ・相談するほどの事はなかった。
- ・配偶者・自分は1から10番のような事をしない。
- ・2人の問題であり、2人で解決することである。
- ・真剣に聞いてくれる人はいるとは思えないからです。
- ・別に大丈夫だから。
- ・その時だけで、後日仲直りをした為。
- ・相手を怒らせるのは自分がいけないと思ってるし、言われるので相談するというのが頭からないし、相談場所もわからず、そこまで行く事も不可能、行動を制限されている為。
- ・自分が悪いと思い込んでいたため、誰にも相談できなかった。しても無駄という諦めもあった。
- ・軽い感じだったので。

・相談するほどの事ではなかったの。
・私的问题と考えた。
・相談することによって、物事が複雑化するだけで解決にならないから・・・。
・自分で判断する。
・この位自分で解決できるから、こんなアンケートの必要あるかが問題よ。つまらん。
・相談するほどのことでもない。夫婦喧嘩は犬も食わない！
・たまに無視したりするが、いちいち面倒だというような感がある。電話も相手の事を心配しているから愛情がある行為だと思う。しかし、DV的な監視は暴力である。
・相談する必要が無い。
・深く考えなかった。
・相談するほどでもないと思ったから。
・相談するまでもない、自分で考えをかえる。
・相談するほどひどいものじゃないから。
・兄弟同士であったので、どちらも悪かったから。
・「ない」のに相談する必要なし。
・ささいな喧嘩なので、他人に相談するまでもなかった。
・本人同士で解決できた。
・自己解決出来た。
・うちの話
・相談するほどではないと判断した。
・度々ではないので・・・
・する様なことではなかった。
・仲直りをする。
・働きたいと思うときに働いたらよいと思う。
・時間が解決してくれると思ったから
・後で考えると対したことではなかった。
・1回だけ
・相談する必要がないと思った。
・しばらくしてお互い冷静になるとたいしたことではなかったため。
・特定の人以外は信用できないから。
・自分自身で解決できる内容だった為。
・怒りが頂点の時だけなので、ほぼやり返すし。結果、理解できることもある！！
・一時的な感情だから。
・それ程、重要でなかった。
・相談するほどの事ではなかった。